PosReg

— Visual Cash Register —

操作説明書

電子パーツ･無線機･制御機器･計測器設計製作

PATOK

松本無線パーツ(株)岩国

〒740-0018　山口県岩国市麻里布町 4-14-24

URL: http://www.patok.jp

E-mail: info@patok.jp

はじめに

このたびは PosReg をご利用いただき、誠にありがとうございます。

PosReg は当社で使用し続けてきたシステムを、一般小売店向けに改良を重ねて製品化したものです。充実した機能、使いやすさを備え、コストパフォーマンスに優れた製品となっております。PosReg は、今まで積み重ねてきた集大成であり、当社が自信を持ってお勧めできる完成度の高い製品です。

どうぞ PosReg を末永くご利用になり、ご意見やご感想などがありましたら、当社あてメールアドレスにご連絡いただければ幸いです。

※本マニュアルで使用されている会社名、商品名等は、各社の登録商標です。

2005 年 6 月
電子パーツ･無線機･制御機器･計測器設計製作
ＰＡＴＯＫ
松本無線パーツ(株)岩国

〒740-0018　山口県岩国市麻里布町 4-14-24
URL: http://www.patok.jp
E-mail: info@patok.jp

目　次

序　章 1

概要 1
動作条件 1
インストール 2
PosReg の実行 2
アンインストール 2

第１章　PosReg の特長 3

第２章　各種設定 4

２－１．サンプルデータの取り込み方 4
２－２．各キーの機能と名称 5
２－３．設定画面の説明 6
１．[ファンクションキーレイアウト]コマンド 7
２．[全体] コマンド 8
３．[部門] コマンド 9
４．[PLU] コマンド １１
５．[グループ] コマンド １２
６．[担当者] コマンド １３
７．[締めキーファイル（取引１）] コマンド １４
８．[取引キーファイル（取引２）] コマンド １４
９．[合計器を持たないキー（取引３）] コマンド １５
１０．[固定合計器] コマンド １６
１１．[レシートメッセージ] コマンド １６
１２．[２段値札] コマンド １７
１３．[精算 －全ファイル] コマンド １７
１４．[ODBC リンク] コマンド １８
１５．[ODBC 拡張] コマンド １９
２－４．レシートの書式設定 ２０
２－５．カスタマディスプレイの設定 ２０

第３章　担当者登録 ２１

第４章　商品登録 ２２

４－１．グループ登録 ２２
４－２．部門登録 ２３
４－３．PLU 商品登録 ２４
４－４．商品画像登録 ２５

第５章　売上登録（通常登録）　２６

５－１．レジ担当者の登録　２６
５－２．レジ責任者の変更　２６
５－３．金額入力による売上登録　２６
５－４．部門に単価が登録してある場合の売上登録　２７
５－５．画像を使って売上登録（部門）　２７
５－６．画像を使って売上登録（PLU）　２８
５－７．スキャナでバーコードを読み取る場合の売上登録　２８
５－８．値引き・値増しの方法　２９
５－９．割引き・割増しの方法　３０
５－１０．信用売りとして売上登録　３１
５－１１．入金・出金・両替の方法　３２
５－１２．レシートオン・オフの切り替え方法　３３
５－１３．レシート発行の方法　３３
５－１４．領収証発行の方法　３４

第６章　訂正　３６

６－１．エラーメッセージの解除　３６
６－２．入力中の訂正　３６
６－３．入力確定後の訂正　３６
６－４．取引終了後の訂正（戻し処理の方法）　３７

第７章　点検　３８

第８章　精算　３９

８－１．全体精算の方法　３９
８－２．精算レポートの見方　４１

序　章

■*概要*

１．本ソフトはシェアウェアです。
　　ご試用期間は、４０日間とさせて頂きます。
２．本ソフトウェアは、市販されているパーソナルコンピュータにインストールすることにより、取引を行い、レシートを印刷するとともに、取引の精算を行います。
３．ODBC データソースに対応していますので、ご使用になるお客様の要望を、ほとんどデータベースアプリケーション開発のなかで吸収することが可能です。
４．パーソナルコンピュータのキーボード操作による取引キーをカスタマイズする、ファンクションキーレイアウト設定が可能です。
５．基本レジスターとしての機能を以下に示します。
　・部門売上｛１～９９９件｝
　・PLU（バーコード）売上｛１～４２９４９６７２９４件（理論上)｝
　・２段値札（２段バーコード）売上
　・受注番号売上（ODBC データソース使用時のみ可能です）
　・取引１：現預、貸売、信売、券売
　・取引２：入金、出金、両替、非加算、値引、割引、値増、割増、訂正、戻し
　・取引３：部門№、金額、小計、桁解除、担当者№、乗算、バーコード、
　　売価変更、万券、レシートオン／オフ、レシート発行、非課税、免税、
　　税／奉、特地税非課税、客数、ツーゼロ、取引先／品名変更、
　　領収証発行、ユーザ定義アプリケーションの実行（売上伝票リンク等）
　・点検：部門、PLU、グループ、担当者、取引関係、固定合計器、現金収支、レシート
　・精算：部門、PLU、グループ、担当者、取引関係、固定合計器、現金収支、全ファイル
６．部門一覧画像や PLU の部門別バーコード／画像一覧から選択できる、画期的な部門／PLU 売上が可能です。
　　画像ファイルは部門№／バーコード№を半角数字のファイル名にしたものをご用意頂く必要があります。
　　例えば、部門№７５の画像の場合、“ 75.jpg ”、
　　バーコード№４９０２７１０６３４２８４の画像の場合、“ 4902710634284.jpg ” にして下さい。
　　画像サイズは、横１３３×縦１００ピクセルでインポートしますので、当該ピクセル以上の画像をご用意下さい。

　尚、パーソナルコンピュータ側の使用方法や他のアプリケーションを併用するときは、パーソナルコンピュータの取扱説明書や、他のアプリケーションの取扱説明書をお読み下さい。

■*動作条件*

　本ソフトウェアを使用するためには、以下の条件が必要です。
１．動作 OS は、Windows98／2000／XP です。
　　ＷｉｎｄｏｗｓＸＰ を推奨いたします。
２．動作 CPU は、インテル系　ｉ３８６　以上です。
　　Celeron　1.3GHz 以上を推奨いたします。
３．動作メモリーは、１２８MB 以上です。
　　２５６MB 以上を推奨いたします。
４．動作ハードディスク空き容量は、２００MB 以上です。
　　１０GB 以上を推奨いたします。
５．当該 OS 対応のレシートプリンタ。
　　EPSON 社製　ＴＭ－Ｔ８８　シリーズを推奨いたします。
　　ただし、OLE　POS には対応していませんので、当該 Windows プリンタドライバーが配布されている必要があります。

必要に応じて、バーコードスキャナーやキャッシュドロアをご準備下さい。
キャッシュドロアを使用する場合は、レシートプリンタを、キャッシュドロアコントロール可能なものにする必要があります。

■*インストール*

市販されているパーソナルコンピュータに PosReg をインストールして下さい。
インストールは、Setup.exe を実行します。
後は、セットアップの案内に従って下さい。

※重要 ― セットアップ中に表示されるライセンス契約書を注意してお読みください。
ライセンス契約書の条項に同意されない場合、本ソフトウェアのインストールを行わないで下さい。

■*PosReg の実行*

ディスクトップに作られた“ PATOK PosReg ”のショートカットを選択し、実行して下さい。
または、“ スタート ”→“ すべてのプログラム ”→“ PATOK アプリケーション ”→“ PATOK PosReg ”を選択し、実行して下さい。
PosReg が起動すると、責任者選択ダイアログが表示されます。
予め担当者として“ オーナー ”のみが登録してありますので、Enterキーを押して下さい。
後は、PosReg の“ ヘルプ ”メニューから“ トピックの検索 ”を選択し、熟読をお願いいたします。
正しい操作をご習得の上、活用頂きます様お願いいたします。

尚、PosReg のライセンスをご購入頂いたお客様は、お手数ですが、継続してご使用頂くために、PosReg の“ ヘルプ ”メニューから“ PosReg のライセンス情報 ”を選択し、ライセンス入力を行って下さい。

■*アンインストール*

PosReg は、OS でアプリケーションの追加と削除を行うことでアンインストールして下さい。
アプリケーションの追加と削除については、OS の説明書等をお読み下さい。
レシートファイルや部門一覧選択のサムネール画像等、後に作成したデータはアンインストールされませんので、インストールフォルダ（通常は、“ C:¥Program Files¥PATOK¥PosReg ”）を開いて削除して下さい。

■*開発元・著作権*

電子パーツ･無線機･制御機器･計測器設計製作
ＰＡＴＯＫ
松本無線パーツ(株)岩国
〒740-0018　山口県岩国市麻里布町 4-14-24
TEL (0827)24-0081(代)　FAX(0827)24-1444
URL: http://www.patok.jp
E-mail: info@patok.jp

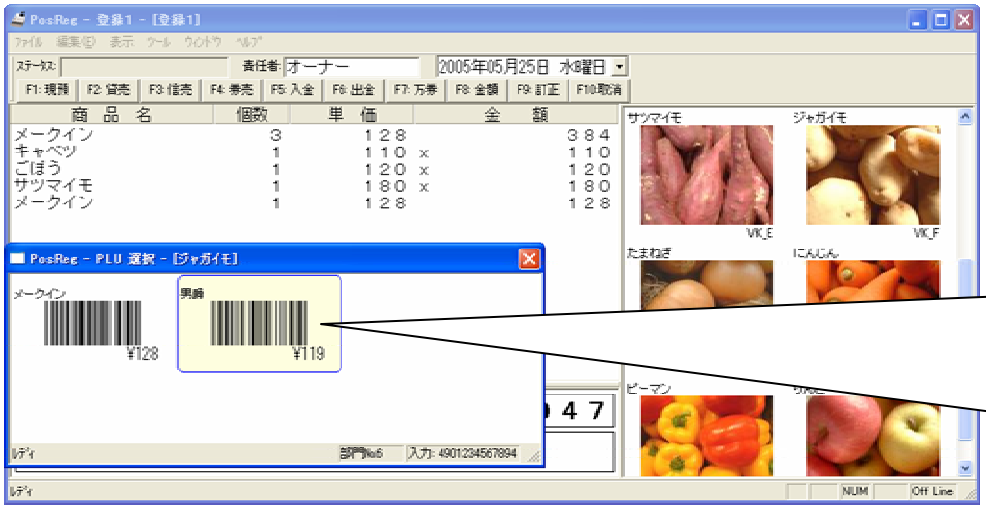
※本テキストで使用されている会社名、商品名等は、各社の登録商標です。

第１章　PosReg の特長

PosReg は、高機能パソコンレジソフトです。
一般的な Pos レジ機能に加え、画像からの視覚的な売り上げ登録が可能です。

部門一覧選択欄に商品画像を取り込んで、見た目に分かりやすいレジ操作ができるので、打ちまちがいを防ぐことができます。

■参照■
P25.4-4.商品画像登録



PLU 商品登録をしておけば、画面上にバーコードが表示されます。
（PLU 設定に画像未登録の場合）
画面上のバーコードを、バーコードリーダーで読み取ることができます。

■参照■
P24.4-3.PLU 商品登録

部門一覧選択欄を別ウィンドウで表示することができます。
ウィンドウを大きく使うことで、多くの商品を閲覧することができます。

■参照■
P27.5-5.画像を使って売上登録（部門）
P28.5-6.画像を使って売上登録（PLU）

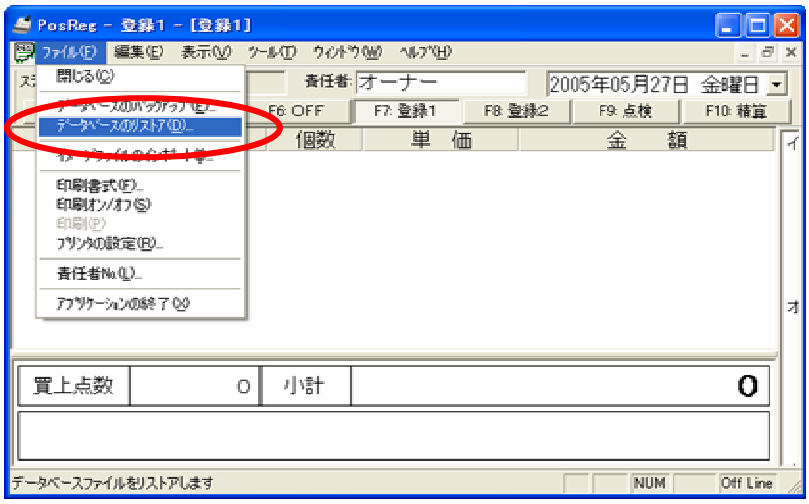
第２章　各種設定

２－１．サンプルデータの取り込み方

本編で使用する『八百屋サンプルデータ』を PosReg に取り込みます。不要な場合はこの操作を行わないでください。
また、[データベースのバックアップ]で保存したデータは、この方法で復元できます。
〔例〕はインストール時にデータの保存先を変更しない場合で説明しています。

〔例〕『八百屋サンプルデータ』をリストア（復元）する。

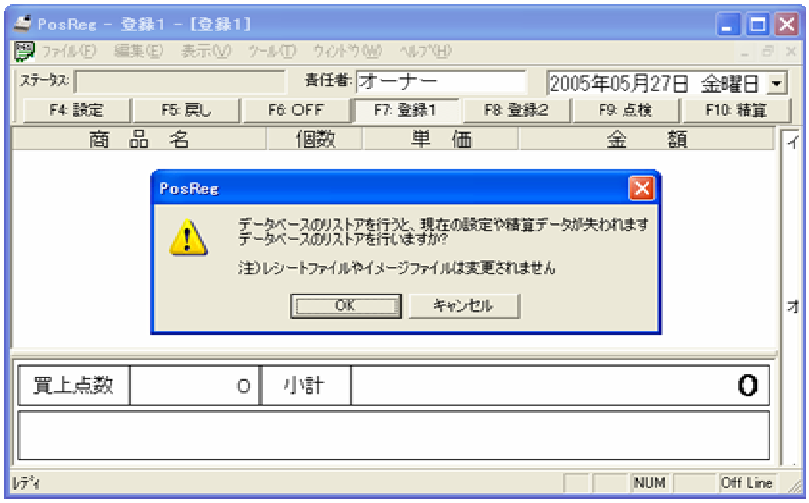
①[ファイル]→[データベースのリストア]



②右図のメッセージが出たら
OK を選択します。

※PosReg 使用中にとったバックアップを復元するときは、リストアをすると現在の設定や精算データが失われますので、失われても良い場合のみリストアを行ってください。

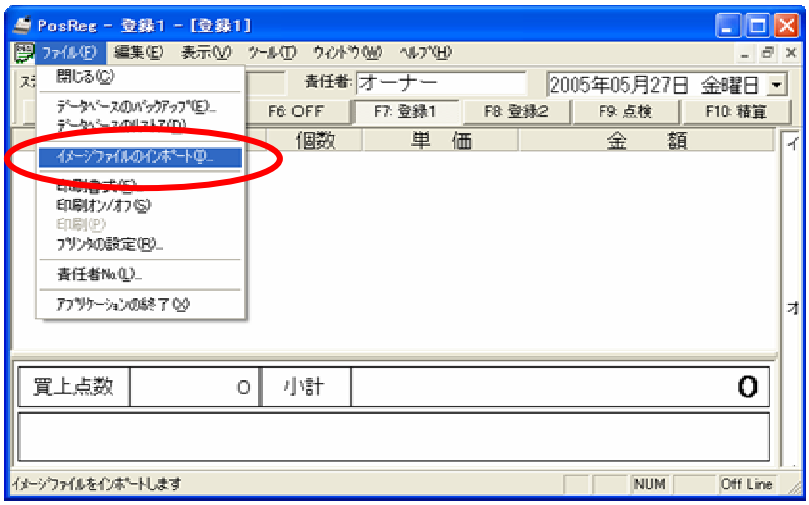
③リストアを行うファイルを選択します。
C→ProgramFiles→PATOK→ PosReg →Samples→八百屋.dbk
→ 開く(O)



続いて、イメージファイル（商品画像）をインポート（取り込み）します。

④[ファイル]→[イメージファイルのインポート]

⑤インポートする画像が保存してあるフォルダを選択します。
C→ProgramFiles→PATOK→ PosReg →Samples→Image（フォルダ）
→ OK



※画像のファイル名には決まりがあります。
詳細は４－４．商品画像登録（P.25）を参照してください。

2－2．各キーの機能と名称

既定の設定における各キーの機能と名称を以下に示します。

キーは数字を除いて、自由に割り当ての変更が可能ですが、本説明では既定の設定で説明します。

※割り当ての変更は、 F4: 設定 → 1. ファンクションキーレイアウト で行ってください。

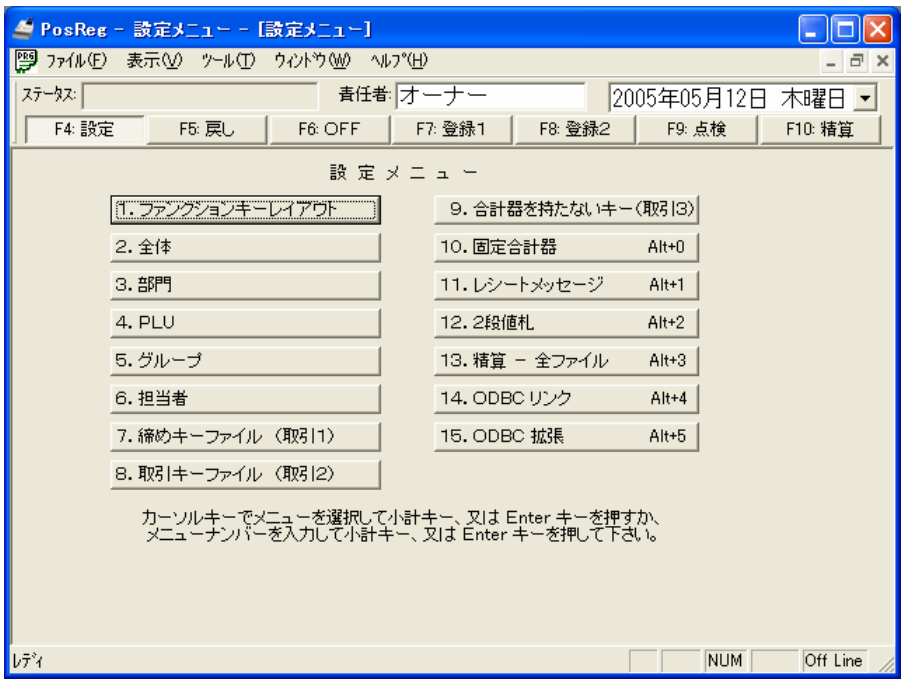
キー	名　称	機　能
A ～ Z, Shift + A ～ Z	部門キー	部門を指定するときに使用します。
↑, ↓, ←, →	カーソルキー	選択されている部分を、上下左右に移動するときに使用します。
PageUp, PageDown	頁切り替えキー	選択されている部分を、頁ごとに上下左右に移動するときに使用します。
Home, End	頁ジャンプキー	選択されている部分を、最初の頁や最後の頁に移動するときに使用します。
0 ～ 9	テンキー	金額、数量や番号等の置数時に使用します。
?	責任者№キー	担当者の交代や暗証番号を変更するときに使用します。
^	レシートオン／オフキー	レシート用紙への印字を行ったり、あるいは行わないときに使用します。
__	レシート発行キー	レシート用紙への印字を行うときに使用します。
～	領収証発行キー	レシート発行後に、その登録の領収証を発行するときに使用します。
BackSpace	1 文字クリアキー	直前に入力した数値を訂正する場合に使用します。
Delete	置数クリアキー	置数を訂正する場合に使用します。
Esc	クリアキー	置数やエラー等を解除する場合に使用します。
*	乗算キー	このキー操作の前に置数があるときに、乗算キーとして使用します。
.	ツーゼロキー	百円単位の数値を入力するときに便利なキーです。０が２桁続けて入力されます。
#	ノンアドキー	登録に直接関係のない数値を入力するときに使用します。
F7	万券キー	10,000 円の置数をこのキーを押すだけで表示できます。
F9	訂正キー	訂正を行うときに使用します。選択されている部分の登録が取り消されます。
+	部門№キー	部門番号で登録を行うときに使用します。
F8	金額キー	部門番号登録時に部門番号登録後、金額を入力するときに使用します。
”	売価変更キー	登録されている PLU コードの売価を変更するときに使用します。
Enter	OBR コードキー	バーコードをコード№で登録するときに使用します。
－	値引きキー	各部門、商品や小計に対する値引きを行うときに使用します。
／	割引きキー	各部門、商品や小計に対する割引きを行うときに使用します。
Alt + －	値増しキー	各部門、商品や小計に対する値増しを行うときに使用します。
Alt + ／	割増しキー	各部門、商品や小計に対する割増しを行うときに使用します。
F5	入金キー	入金を行うときに使用します。置数後このキーを押すとその金額の入金レシートを発行します。
F6	出金キー	出金を行うときに使用します。置数後このキーを押すとその金額の出金レシートを発行します。
¥	両替キー	両替を行うときに使用します。

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

キー	名　　称	機　　能
F1	現金預かりキー	現金売りの登録を行うときに使用します。預かり金の後に押せば自動的につり銭計算を行います。
F2	貸し売りキー	貸し売りを行うときに使用します。
F3	信用売りキー	信用売りの登録を行うときに使用します。
F4	券売りキー	商品券等の現金売り以外の取引処理を行うときに使用します。一部入金、つり銭計算が可能です。
Space	小計キー	それまで登録した金額の中間計を知りたいときに使用します。
F10	取消キー	取引途中の登録をすべて取り消し、元に戻します。
Shift ＋ Esc	戻しキー	レシート発行後に、その登録の戻し（返品）処理を行うときに使用します。
!	桁解除キー	置数入力において、制限桁数以上の桁数を入力したいときに使用します。
'	非課税キー	非課税商品の登録を行うときに使用します。
$	免税キー	免税取引の登録を行うときに使用します。
%	税／奉キー	サービス料金と特別地方税の自動計算を行うときに使用します。
&	特地税非課税キー	特地税非課税商品の登録を行うときに使用します。
:	客数キー	客数の登録を行うときに使用します。
Insert	品名変更キー	取引先や商品名の入力を行うときに使用します。
=	売上伝票キー	売上伝票リンクアプリケーションを起動します。[売上伝票リンク設定]で指定した、別のアプリケーションを起動したいときに使用します。

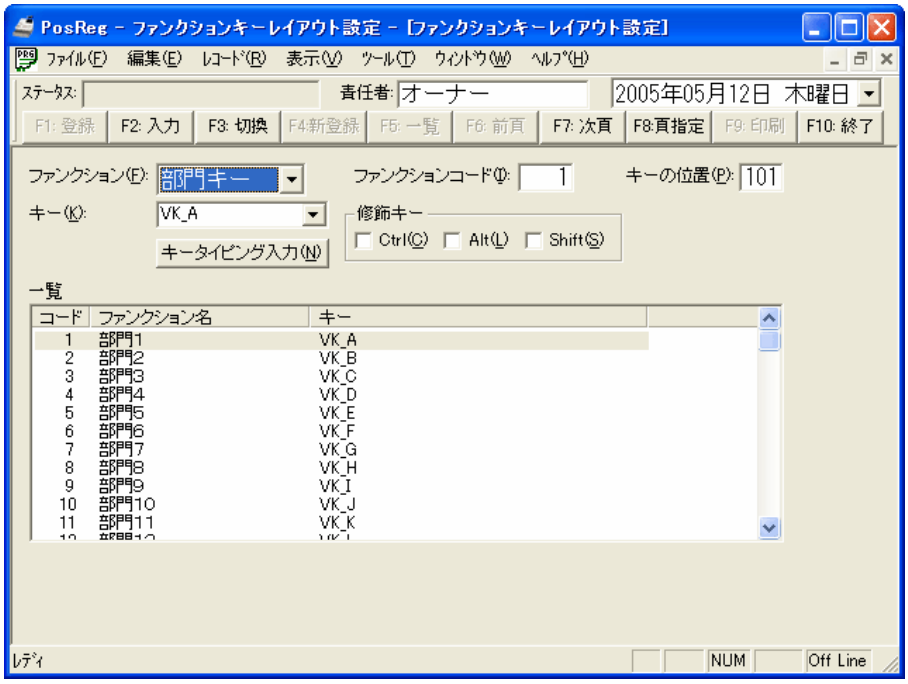
2－3．設定画面の説明

F4 または F4: 設定 をクリックすると[設定メニュー]ウィンドウが表示されます。
[設定メニュー]には以下のようなコマンドがあります。



1．[ファンクションキーレイアウト]コマンド

ファンクションキーレイアウト設定を行います。



■*ファンクション*

レイアウトを設定するファンクションを選択します。

リスト ボックスには、使用できるファンクションが一覧表示されます。

■*ファンクションコード*

レイアウトを設定するファンクションコードを入力します。

リスト ボックスには、使用できるファンクションコードが一覧表示されます。

■*キーの位置*

当該ファンクションを実行するキーの位置を入力して下さい。

キーの位置は、使用する POS ターミナルに依存しますので、詳細は、使用する POS ターミナルの説明書等を参照して下さい。

PosReg は、キーの位置を、キーに変換しますので、POS ターミナルで使用するファンクションコードは、キーを空白にしないようにして下さい。

■*キー*

当該ファンクションを実行するキーを入力して下さい。キータイピング入力ボタンを押すと、PosReg は［キータイピング入力］ ダイアログ ボックスを表示しますので、使用するキーを入力して下さい。

※システムで使用しているキー（Ctrl ＋ Alt ＋ Delete 等）は使用しないで下さい。システムの方が優先となりますので、設定しても機能しません。システムで使用しているキーは、OS や他の起動中のアプリケーションに依存しますので、詳細は使用する OS や、同時に使用するアプリケーションの説明書等を参照して下さい。

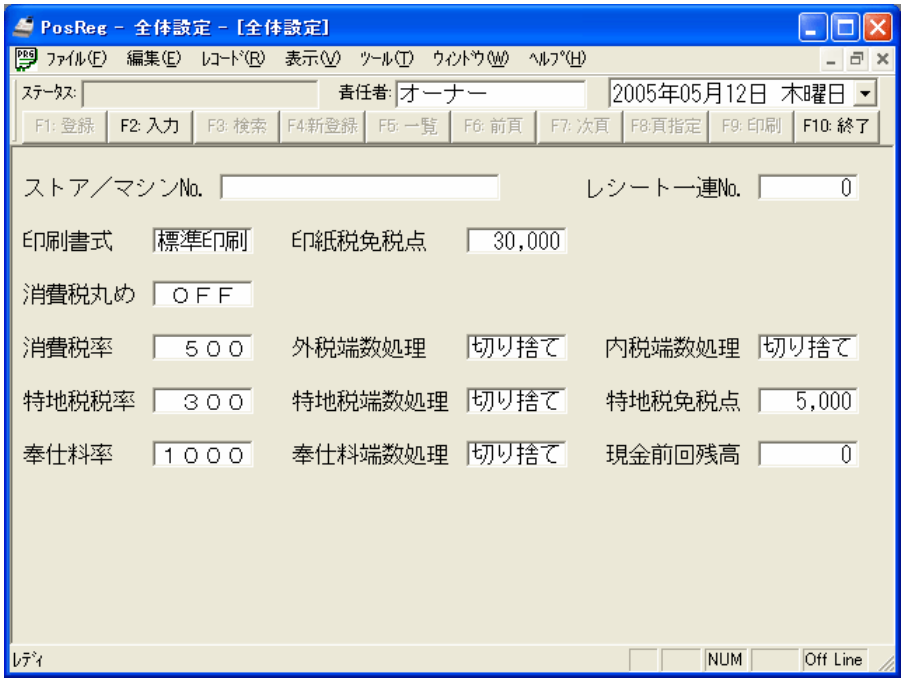
リスト ボックスには、使用できる仮想キーが一覧表示されます。仮想キーとは、Shift キーや Caps Lock キー等の状態によって変わることの無いキーを指します。

■*修飾キー*

キーに仮想キーを入力したときに、修飾するキーをチェックして下さい。キータイピング入力ボタンを押して、使用するキーを入力した場合は、PosReg は該当する修飾キーをチェックします。

2．[全体]コマンド

全体設定を行います。



■*ストア／マシン№*

レシートの左上隅に印刷する文字を入力します。

■*レシート一連№*

レシートの右下隅に印刷する一連ナンバーの初期値を入力します。

■*印刷書式*

レシートの書式を選択します。

印刷書式には以下のような種類があります。

基本印刷

見出しの印刷を行いません。POS デバイスを使用される場合は、見出しの代わりにスタンプ制御を行うことができます。また、レシートメッセージに見出しを含める場合も、基本印刷を選択して下さい。取引明細の印刷を行う前に、レシートメッセージ、ストア／マシン№と日付の印刷を順に行います。

標準印刷

見出しとして、“ お買上票 ” と “ 毎度ありがとうございます ” の印刷を行います。見出しの後に、レシートメッセージ、ストア／マシン№と日付の印刷を順に行います。以降、取引明細の印刷を行います。

下付領収印刷

見出しとして、“ 領収証 ” の印刷を行います。見出しの後に、ストア／マシン№と日付の印刷を順に行います。以降、取引明細の印刷を行います。取引終了時に、取引合計金額とレシートメッセージの印刷を順に行います。

上付領収印刷

見出しとして、“ 領収証 ” の印刷を行います。見出しの後に、ストア／マシン№、日付、取引合計金額、レシートメッセージと “ 明細 ” の印刷を順に行います。以降、取引明細の印刷を行います。

■*印紙税免税点*

領収証発行時、収入印紙貼り付け欄の印刷を行う金額を入力します。

■*消費税丸め*

取引合計金額の端数をサービスする方法を選択します。

消費税丸めには以下のような方法があります。

ＯＦＦ	消費税丸めは行いません。
５円丸め	端数が５円単位になるように、取引合計金額の値引きを行います。
１０円丸め	端数が１０円単位になるように、取引合計金額の値引きを行います。

■*消費税率*

消費税率を１００倍した値を入力します。

例えば、消費税率が３．５%の場合、３５０を入力して下さい。

■*外税端数処理*

課税対象金額から消費税額を計算するときに、小数点以下の端数処理方法を選択します。

外税端数処理には、切り捨て、四捨五入、切り上げがあります。

■*内税端数処理*

消費税を含む金額から消費税額を計算するときに、小数点以下の端数処理方法を選択します。

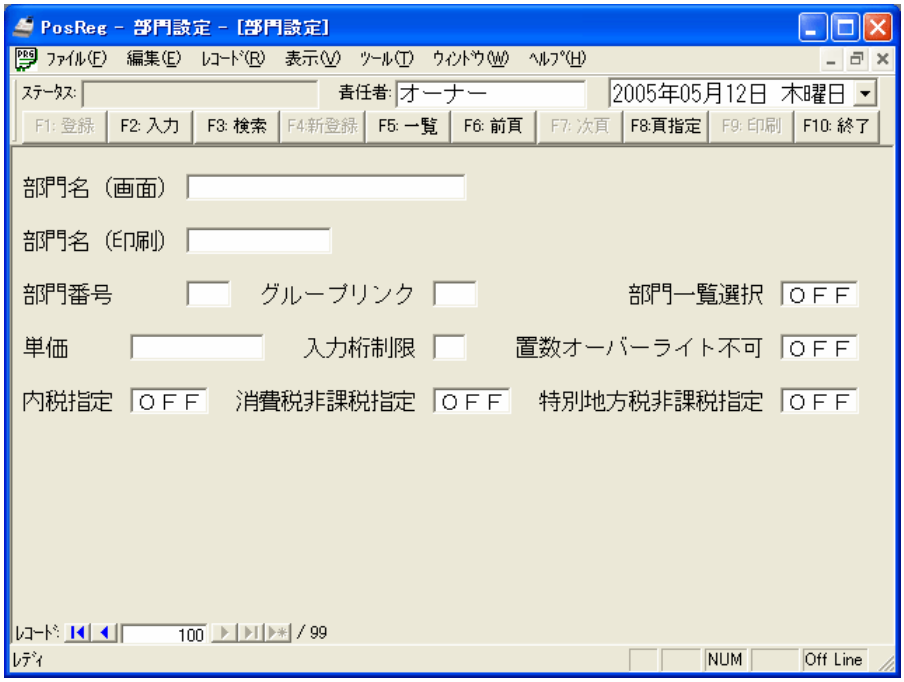
外税端数処理には、切り捨て、四捨五入、切り上げがあります。

■*現金前回残高*

始業前や、精算を行った後に、釣銭用に残しておく現金を入力します。

３．[部門]コマンド

部門設定を行います。



■*部門名（画面）*

画面に表示する部門名を入力します。

■*部門名（印刷）*

レシートに印刷する部門名を入力します。

■*部門番号*

部門キーや部門リンクで参照する番号を入力します。１～９９９の範囲で設定して下さい。

■*グループリンク*

グループにリンクする番号を入力します。[グループ設定]で登録してあるグループ番号を入力して下さい。

■*部門一覧選択*

部門一覧選択を行うか否かを選択します。ON を選択した場合、リピート登録はできません。単価を入力してある場合、PLU の部門リンク参照はできません。

■*単価*

置数無しで部門キーを押したときの売価を入力します。０を入力した場合、置数無しで部門キーを押すと、部門一覧選択が ON であれば、PLU の部門リンク参照になり、OFF であれば、リピート登録を除いてエラーになります。

■*入力桁制限*

当該部門で登録できる売価の最高桁数を入力します。０を入力した場合、桁数は無制限になります。

■*置数オーバーライト不可*

売価を置数で置き換えることを許可するか否かを選択します。ON を選択した場合、置数を入力した後に部門キーを押すとエラーになります。

■*内税指定*

単価や置数が消費税を含むか否かを選択します。

■*消費税非課税指定*

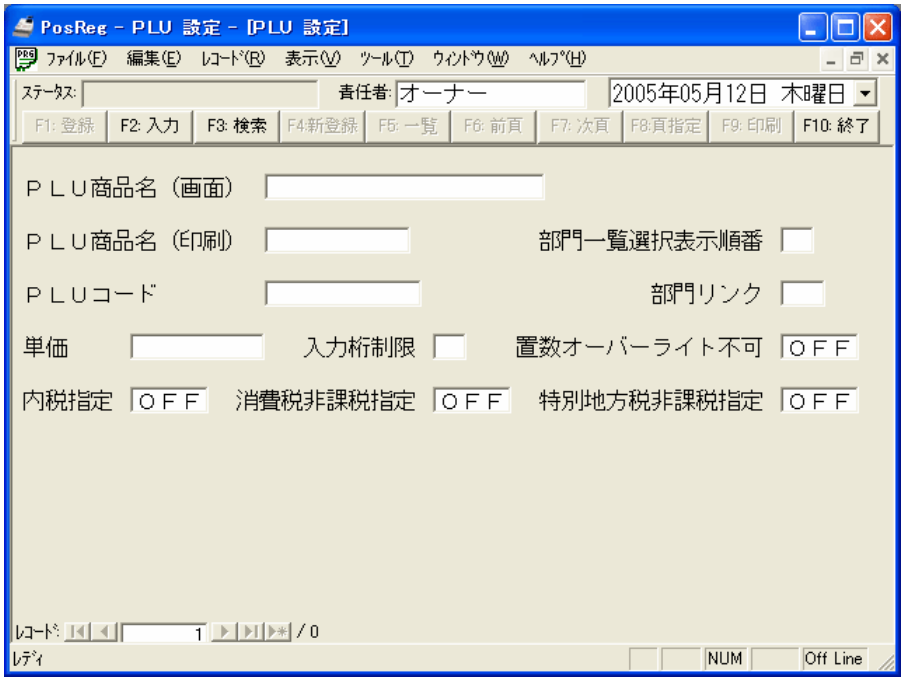
当該部門が消費税非課税か否かを選択します。

■*特別地方税非課税指定*

当該部門が特別地方税非課税か否かを選択します。

４．[PLU 設定]コマンド

PLU 設定を行います。PLU とは"プライス・ルック・アップ"のことで、POS レジの売価をコントロールするマスターです。[ODBC リンク設定]（１４．で説明）で商品をリンクしている場合、PLU 設定はできません。



■*PLU 商品名（画面）*

画面に表示する PLU 商品名を入力します。

■*PLU 商品名（印刷）*

レシートに印刷する PLU 商品名を入力します。

■*PLU コード*

バーコード入力で参照するコードを入力します。

■*部門一覧選択順番*

部門一覧選択で、表示を行う順番を入力します。部門リンク毎に、１から表示を行う順番を入力して下さい。

■*部門リンク*

部門にリンクする番号を入力します。[部門設定]で登録してある部門番号を入力して下さい。

■*単価*

バーコード入力したときの売価を入力します。０を入力した場合、PosReg はバーコード入力時に、自動的に売価変更キーを入力します。

■*入力桁制限*

当該 PLU で登録できる売価の最高桁数を入力します。０を入力した場合、桁数は無制限になります。

■*置数オーバーライト不可*

売価を置数で置き換えることを許可するか否かを選択します。ON を選択した場合、売価変更キーを入力した後にバーコード入力すると、エラーになります。

■*内税指定*

単価や置数が消費税を含むか否かを選択します。

■*消費税非課税指定*

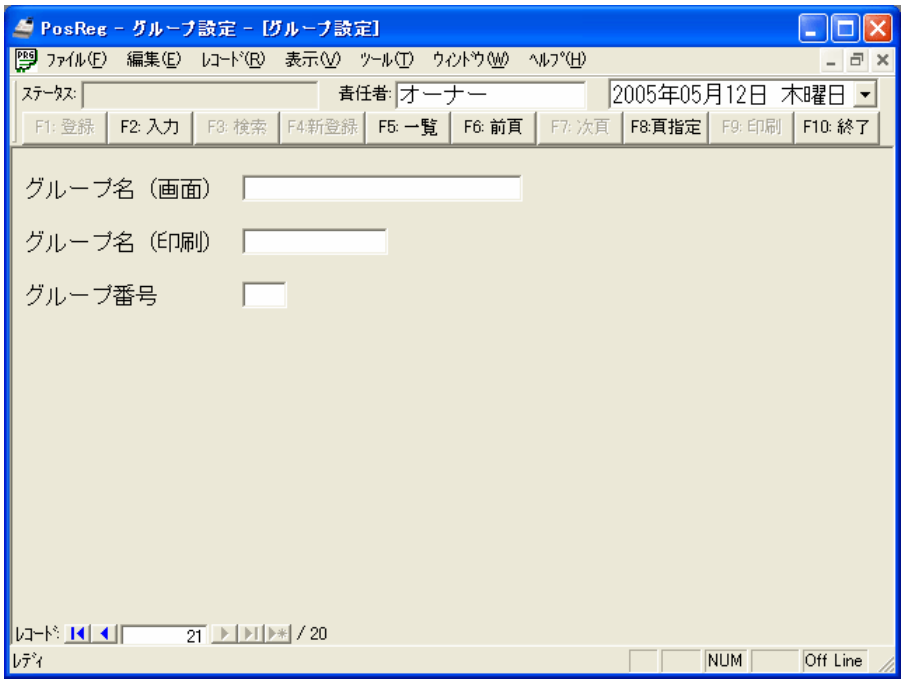
当該 PLU が消費税非課税か否かを選択します。

■*特別地方税非課税指定*

当該 PLU が特別地方税非課税か否かを選択します。

５．[グループ]コマンド

グループ設定を行います。



■*グループ名（画面）*

画面に表示するグループ名を入力します。

■*グループ名（印刷）*

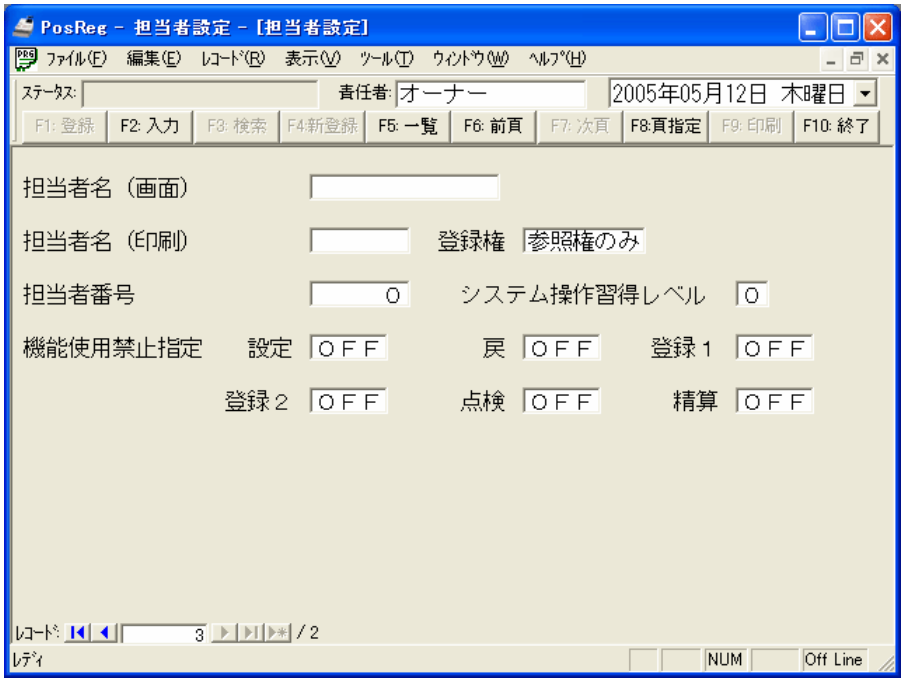
レシートに印刷するグループ名を入力します。

■*グループ番号*

グループリンクで参照する番号を入力します。１～９９９の範囲で設定して下さい。

6．[担当者]コマンド

担当者設定を行います。



■*担当者名（画面）*

画面に表示する担当者名を入力します。

■*担当者名（印刷）*

レシートに印刷する担当者名を入力します。

■*登録権*

[設定メニュー...]で選択できる各種設定の登録権を選択します。

登録権には以下のような種類があります。

参照権のみ	設定内容は確認できますが、設定内容を変更することを禁止します。
登録権のみ	設定内容の確認や変更はできますが、部門や PLU の追加等、新規に登録することを禁止します。
新規登録権	設定に関する全ての権限があります。

■*担当者番号*

責任者選択で参照する番号を入力します。１～９９９９の範囲で設定して下さい。

■*システム操作習得レベル*

PosReg を使用する上での操作習得レベルを入力します。

システム操作習得レベルには以下のような種類があります。

0	初心者に推奨いたします。確認メッセージのデフォルトボタンのほとんどを、“ いいえ ”や“ キャンセル ” にします。
1	一般者に推奨いたします。確認メッセージのデフォルトボタンを、頻繁に使用しない機能を除いて、“ はい ” や “ OK ” にします。
2	熟練者に推奨いたします。頻繁に使用しない機能を除いて、確認メッセージを出しません。

■*機能使用禁止指定*

担当者によって機能の使用を禁止するか否かを選択します。禁止可能な機能には、設定、戻し、登録１、登録２、点検や精算があります。

7．[締めキーファイル（取引１）]コマンド

締めキーファイル（取引１）設定を行います。

■*取引名（画面）*

画面に表示する取引名を入力します。

■*取引名（印刷）*

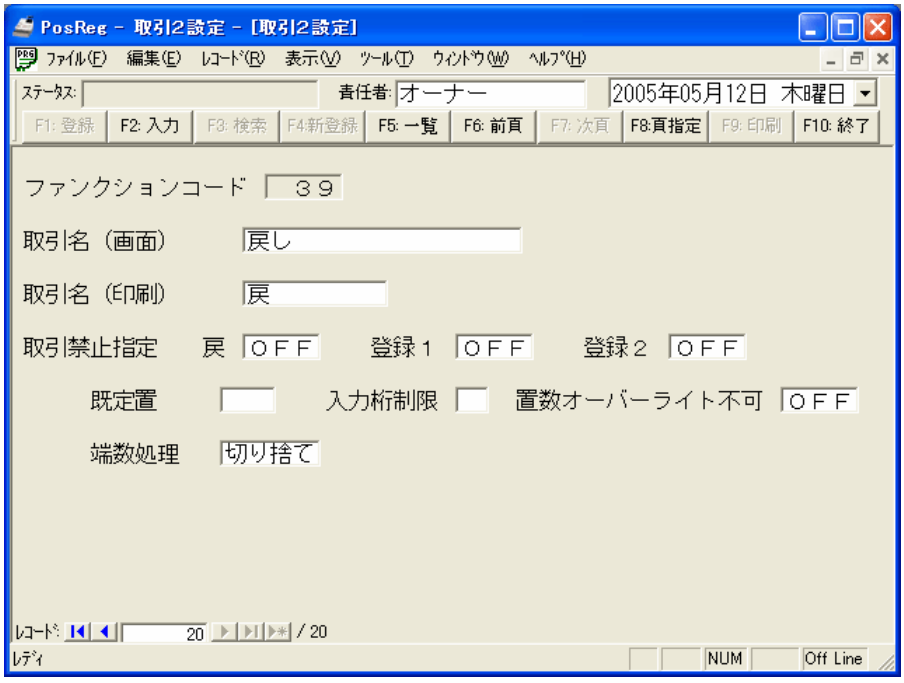
レシートに印刷する取引名を入力します。

■*取引禁止指定*

登録モードによって取引の使用を禁止するか否かを選択します。

8．[取引キーファイル（取引２）]コマンド

取引キーファイル（取引２）設定を行います。



※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

■*取引名（画面）*

画面に表示する取引名を入力します。

■*取引名（印刷）*

レシートに印刷する取引名を入力します。

■*取引禁止指定*

登録モードによって取引の使用を禁止するか否かを選択します。

■*既定値*

置数無しで取引キーを押したときの値を入力します。

■*入力桁制限*

当該取引で登録できる置数の最高桁数を入力します。０を入力した場合、桁数は無制限になります。

■*置数オーバーライト不可*

既定値を置数で置き換えることを許可するか否かを選択します。ON を選択した場合、置数を入力した後に当該取引キーを入力するとエラーになります。

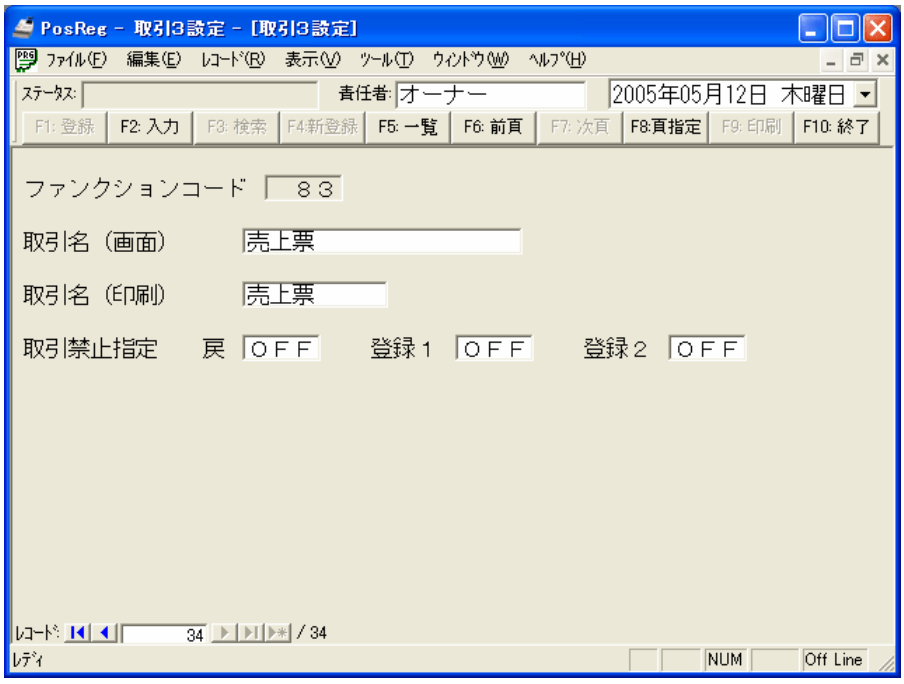
■*端数処理*

取引対象金額から割引や割増しを計算するときに、小数点以下の端数処理方法を選択します。

端数処理には、切り捨て，四捨五入，切り上げがあります。

９．[合計器を持たないキー（取引３）]コマンド

合計器を持たないキー（取引３）設定を行います。



■*取引名（画面）*

画面に表示する取引名を入力します。

■*取引名（印刷）*

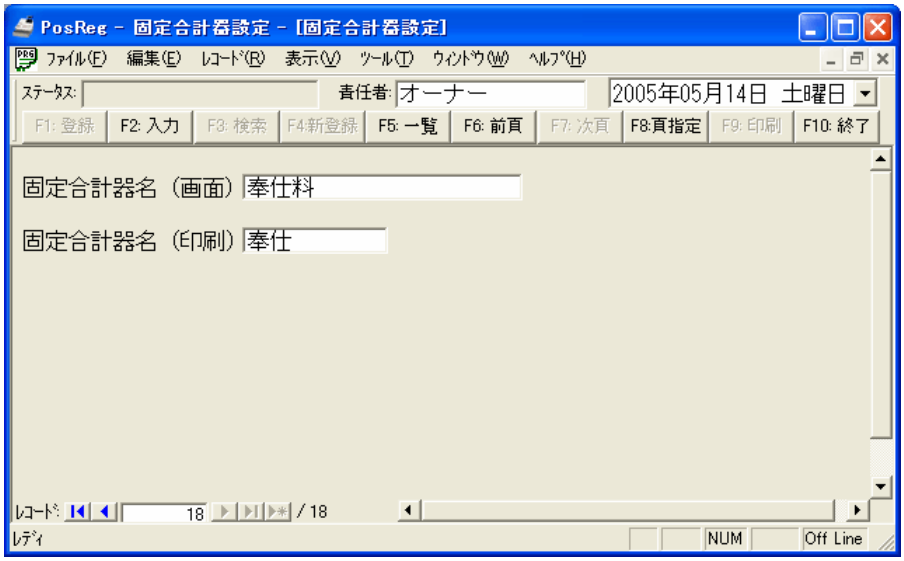
レシートに印刷する取引名を入力します。

■*取引禁止指定*

登録モードによって取引の使用を禁止するか否かを選択します。

１０．[固定合計器設定]コマンド

固定合計器設定を行います。



■*取引名（画面）*

画面に表示する固定合計器名を入力します。

■*取引名（印刷）*

レシートに印刷する固定合計器名を入力します。

１１．[レシートメッセージ設定]コマンド

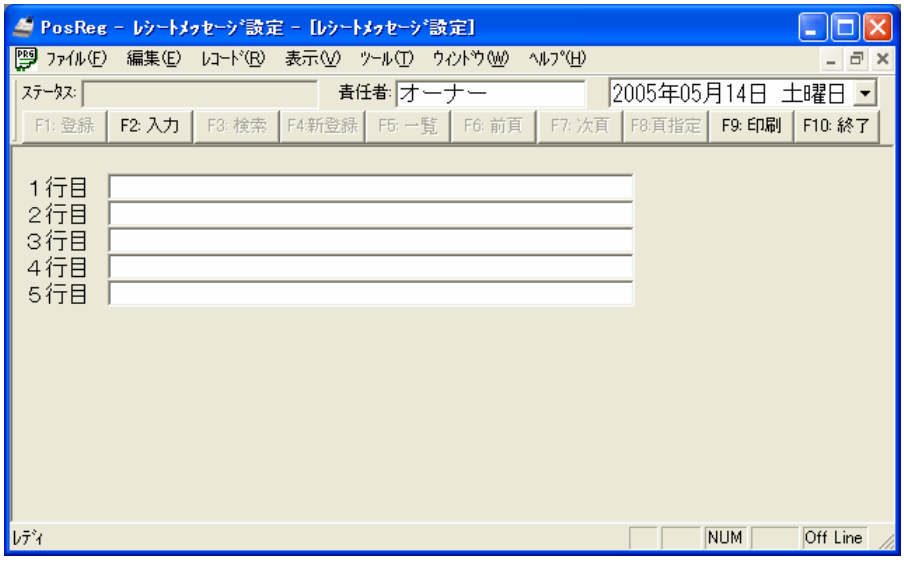
レシートメッセージ設定を行います。

レシートメッセージは、２．[全体] コマンドの印刷書式によって、印刷を行う場合と行わない場合があります。

使用できる特殊機能文字には以下のような種類があります。

￥ｎ	改行を行います
￥ｅ	以降のメッセージを拡大文字（横２倍角）で印字します
￥ｆ	以降のメッセージを標準に戻して印字します

特殊機能文字は半角で入力して下さい。特殊機能文字は印刷されません。

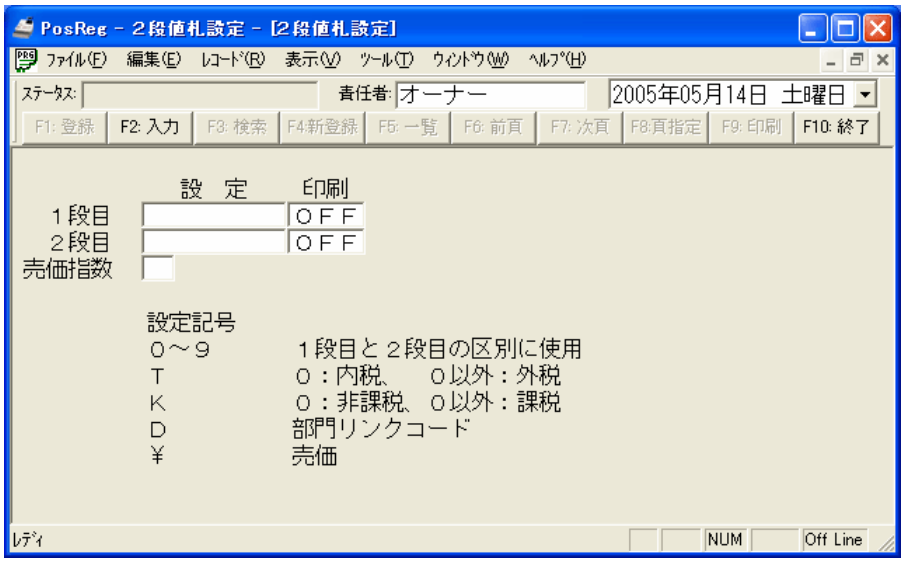


１２．[２段値札]コマンド

２段値札設定を行います。

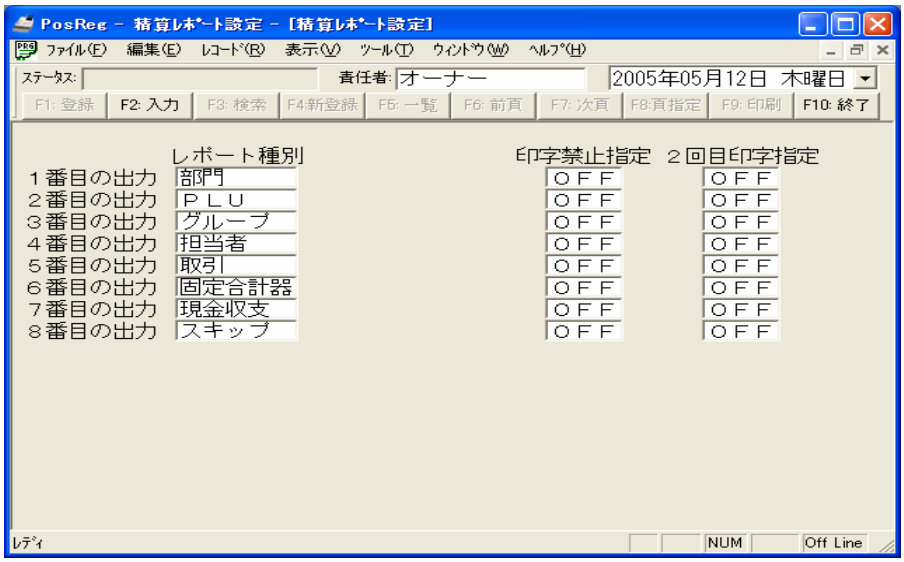
２段値札は売り切れると、その商品が無くなってしまう様な場合に、多く使われます。

コード体系は JAN コードに準拠していますが、バーコードの中に部門リンクや価格情報を持つことができます。



１３．[精算 － 全ファイル]コマンド

F10: 精算 で行う[８．全ファイル]コマンドの設定を行います。



■*レポート種別*

部門、ＰＬＵ、グループ、担当者、取引関係、固定合計器、現金収支の中から、精算処理を行うレポート種別を、精算処理を行う順番に選択します。精算処理を行わないレポート種別はスキップを選択して下さい。

■*印字禁止指定*

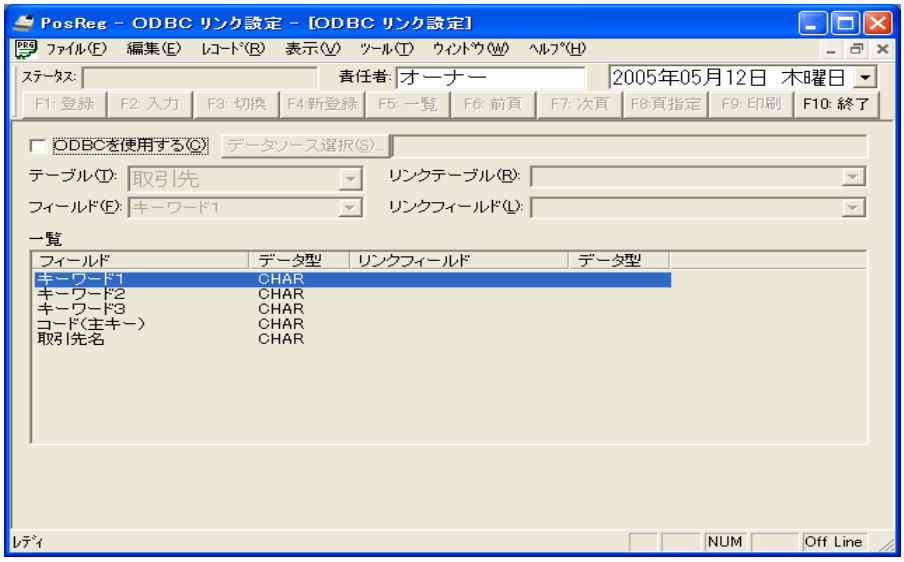
精算処理を行った後に、精算レポートの印刷を行わないときにＯＮ を選択します。ＯＦＦ を選択すると、レシートがオフになっていても、精算処理を行った後に、精算レポートの印刷を行います。

■*２回目印字指定*

１回目の精算レポートの印刷を行った後に、再度、精算レポートの印刷を行う場合にＯＮ を選択します。ＯＮ を選択すると、印字禁止指定がＯＮ になっていても、２回目の精算レポートの印刷を行います。

１４．[ODBC リンク設定]コマンド

ODBC リンク設定を行います。設定を行う前に、OS のデータソース設定を行って下さい。データソースの設定方法は、OS の説明書等を参照して下さい。



■*ODBC を使用する*

ODBC リンクを行う場合にチェックします。

■*データソース選択*

OS のデータソース設定で登録を行ったデータソース名を入力して下さい。データソース選択ボタンを押すと、登録を行ったデータソース名を、一覧から選択できます。

■*テーブル*

ODBC データソースのテーブルとリンクする、PosReg テーブルを選択します。
リスト ボックスには、リンクできるテーブル名が一覧表示されます。

■*リンクテーブル*

PosReg テーブルとリンクする、ODBC データソースのテーブルを選択します。
リスト ボックスには、リンクできるテーブル名が一覧表示されます。

■*フィールド*

ODBC データソースのフィールドとリンクする、PosReg フィールドを選択します。
リスト ボックスには、選択したテーブルでリンクできるフィールド名が一覧表示されます。

■*リンクフィールド*

PosReg フィールドとリンクする、ODBC データソースのフィールドを選択します。
リスト ボックスには、選択したリンクテーブルでリンクできるフィールド名が一覧表示されます。

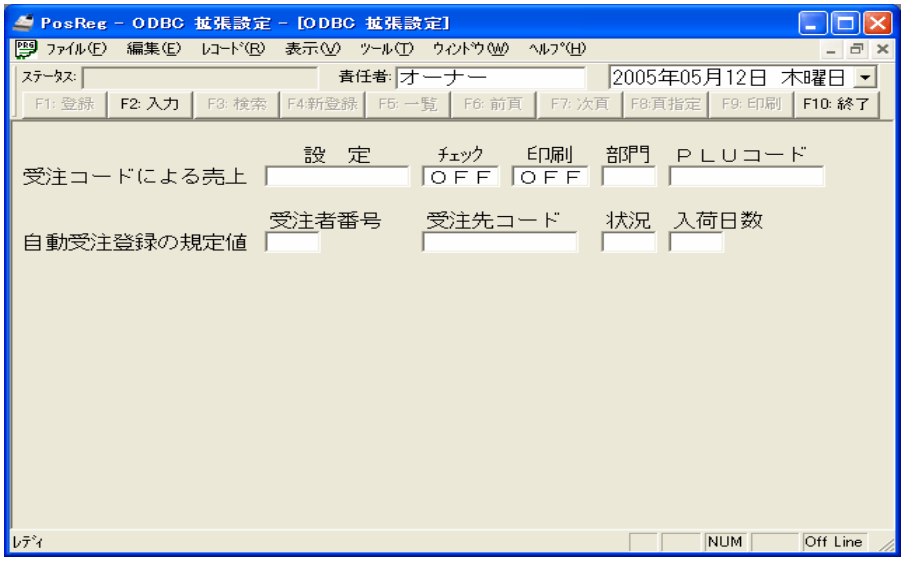
■*一覧*

選択したテーブルのフィールドリンク状況を一覧表示します。できる限りデータ型を一致させるように、データソースを設定して下さい。データ型の変更は、使用するデータベースの説明書等を参照して下さい。

１５．[ODBC 拡張設定]コマンド

ODBC 拡張設定を行います。

受注コードによる売上、自動受注登録、単品収集や精算テーブルの更新を行うときの既定値を設定します。



■*設定*

受注コードによる売上と JAN コードを区別するための数字と、受注番号を持つ位置に、対応する記号を入力します。

設定できる記号には以下のような種類があります。設定記号は半角で入力して下さい。

ＳＳ.. Ｓ　　この位置の数字を受注番号として扱います。

■*チェック*

当該受注コードのチェックコードを、JAN コードと同様にチェックする否かを選択します。

■*印刷*

当該受注コードをレシートに印刷するか否かを選択します。

■*部門*

受注リンクテーブルで、商品コードフィールドをリンクしていない場合や、商品リンクテーブルに該当する商品コードが見つからない場合に使用する部門リンクを入力します。

■*PLU コード*

受注リンクテーブルで、商品コードフィールドをリンクしていない場合に使用する PLU コードを入力します。

■*受注者番号*

自動受注登録を行うときの、受注者番号の既定値を入力します。

■*受注先コード*

自動受注登録を行うときの、受注先コードの既定値を入力します。

■*状況*

自動受注登録を行うときの、状況の既定値を入力します。

■*入荷日数*

商品リンクテーブルで、標準入荷日数フィールドをリンクしていない場合に、自動受注登録を行うときの、希望納期の既定加算日数を入力します。

■*ストアＩＤ*

単品収集と精算テーブルの更新を行うときの、ストア ID の既定値を入力します。

２－４．レシートの書式設定

レシートを印刷するプリンタと、書式を設定します。

[ファイル（F）]メニュー → [印刷書式（F）] の順で、[印刷書式設定]ウィンドウを表示します。

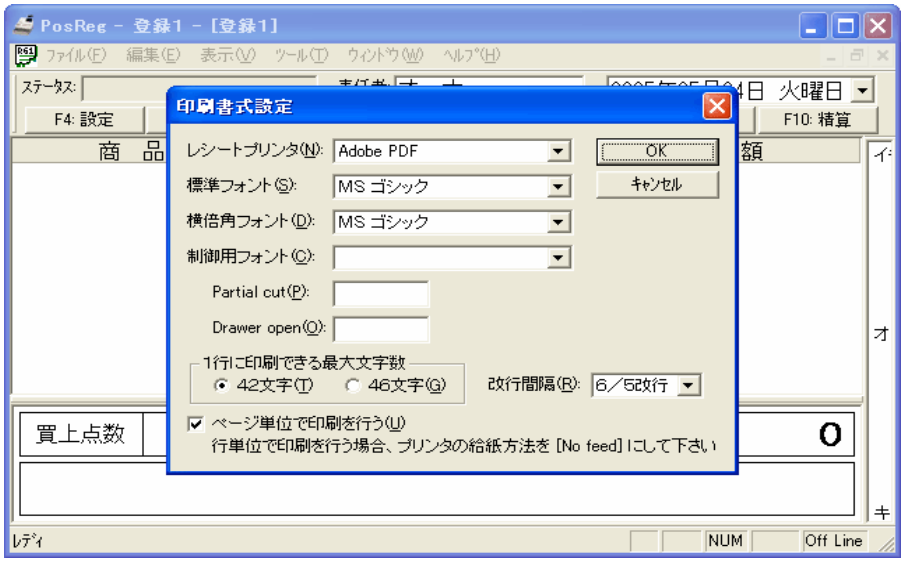
〔例〕手持ちのレシートプリンタを設定する。

①レシートプリンタ
印刷に使いたいレシートプリンタ名を選択

②標準フォント
レシート印字に通常使用するフォントの種類を選択

③横倍角フォント
合計金額など、標準フォントの横２倍で印刷するフォントの種類を選択

④１行に印刷できる最大文字数
手持ちのレシートプリンタで書式のずれがない文字数を選択



※その他、各種の詳細設定はお手持ちのレシートプリンタに付属している説明書をご覧下さい。

２－５．カスタマディスプレイの設定

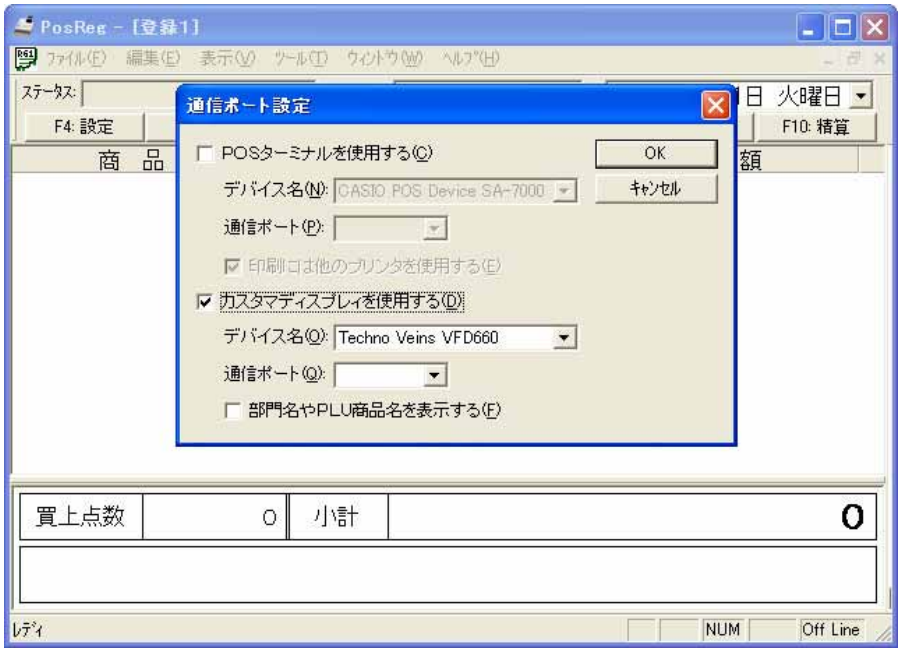
カスタマディスプレイを使用する設定を行います。

[ツール（T）]メニュー → [通信ポート変更（P）] の順で、[通信ポート設定]ウィンドウを表示します。

①カスタマディスプレイを使用する（D）
にチェックを入れる

②通信ポート（Q）
カスタマディスプレィを接続している通信ポートを選択

③OK

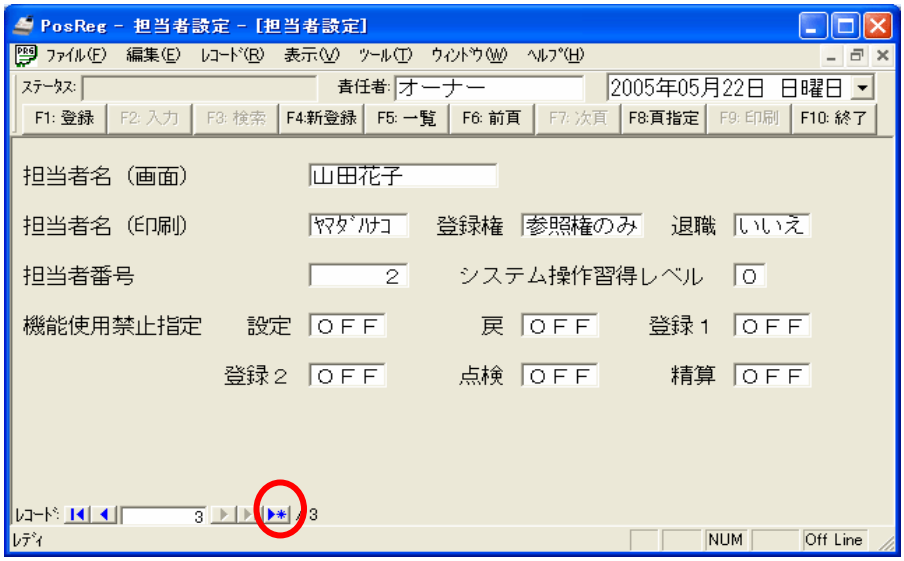


注）“ 部門名や PLU 商品名を表示する（F）” にチェックした場合、金額だけでなく、部門名や PLU 商品名を表示することができます。
部門名やＰＬＵ商品名の表示には印刷用に漢字を利用できますが、漢字非対応ディスプレイではうまく表示されませんので、ご利用になるディスプレイの説明書をご確認の上、使用可能な文字にて入力して下さい。

第３章　担当者登録

F4: 設定 → 6. 担当者 の順で、[担当者設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕新しく山田花子を担当者に登録する。



①担当者名（画面）

パソコン上の表示に使う担当者名を入力

②担当者名（印刷）

レシートに印字したときに使う担当者名を入力

③担当者番号

社員番号等の任意の担当者番号を入力（重複した番号は不可）

④登録権

参照権のみ

登録内容の閲覧のみ許可します。（商品等の登録内容の変更や、新規追加はできません）

登録権のみ

登録内容の変更を許可します。（商品等の新規追加はできません）

新規登録権

すべての操作を許可します。

※参照権のみでもレジを打つことはできます。

⑤機能使用禁止指定

禁止したい機能がある場合は該当する項目を OFF にします。

⑥ F1: 登録

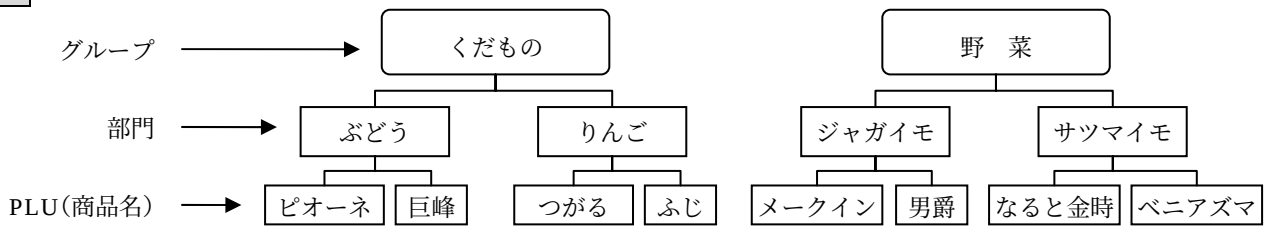
※続けて登録する際は、▶✱ をクリックし、新規作成画面で①～⑥を繰り返します。

⑦ F10: 終了

第４章　商品登録

商品は大分類、小分類に分けることができます。大分類をグループ、小分類を部門と呼びます。

図１



４－１．グループ登録

F4: 設定 → 5. グループ の順で、[グループ設定]ウィンドウを表示します。

大分類となるグループ名を登録します。スーパーなどでは「青果」「鮮魚」「雑貨」等に設定することもできます。使用状況に合わせて自由に設定してください。

〔例〕グループ名を「くだもの」にする。

①グループ名（画面）
　パソコン上の表示に使うグループ名を入力

②グループ名（印刷）
　レシートに印字したときに使うグループ名を入力

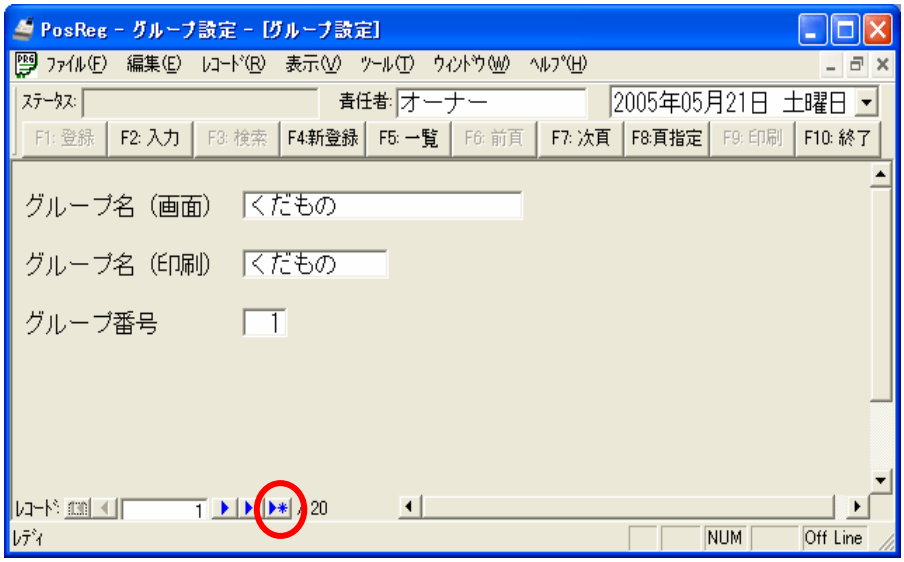
③グループ番号
　任意のグループ番号を入力

※グループ番号は４－２．部門登録 で部門とリンクさせる際に使用

④ F1: 登録

※続けて登録する際は、▶✱ をクリックし、新規作成画面で①～④を繰り返します。

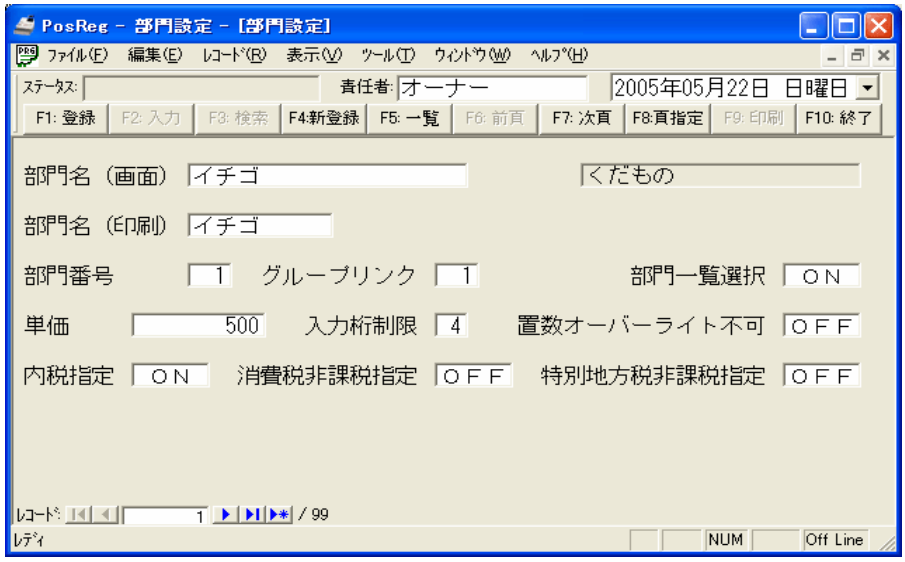
⑤ F10: 終了



４－２．部門登録

F4: 設定 → 3. 部門 の順で、[部門設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕部門に「イチゴ」を登録する。



①部門名（画面）
　パソコン上の表示に使う部門名を入力

②部門名（印刷）
　レシートに印字したときに使う部門名を入力

③部門番号
　任意の部門番号を入力

※部門番号は４－３．PLU 登録で PLU とリンクさせる際に使用

④グループリンク
　枠内をダブルクリックすると、登録済みのグループ一覧が表示されます。所属するグループをダブルクリックで選択すると、グループ番号が入力されます。

⑤部門一覧選択
　OFF　PLU 商品部門一覧選択のリストから除外されます
　ON　売り上げ登録時に部門一覧選択のリストに表示されます

※すべての部門の部門一覧選択を OFF にすると、リストは表示されますが、一覧からの売上登録はできません（エラー）

⑥単価
　登録中の部門の単価を入力します。

※登録中の部門がさらに詳細（PLU）に分類される場合は、単価は詳細（PLU）登録の際に入力しますので、ここでは入力しないでください。…前ページ図１参照

⑦入力桁制限
　売り上げ登録時に入力できる桁数を制限したい場合は桁数を入力します。

⑧置数オーバーライト不可
　OFF　売り上げ登録時に売価を変更可能にします
　ON　売り上げ登録時に売価を変更不可にします

⑨ F1: 登録

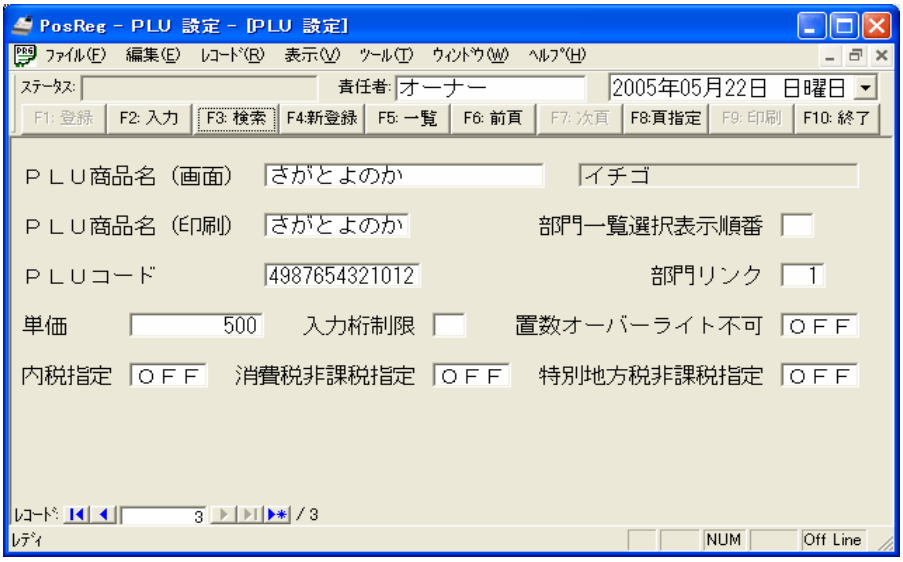
※続けて登録する際は、▶* をクリックし、新規作成画面で①～⑨を繰り返します。

⑩ F10: 終了

４－３．PLU 商品登録

F4: 設定 → 4. PLU の順で、[PLU 設定]ウィンドウを表示します。

〔例〕PLU 商品に「さがとよのか」を登録する。



①PLU 商品名（画面）
　パソコン上の表示に使う部門名を入力

②PLU 商品名（印刷）
　レシートに印字したときに使う部門名を入力

③PLU コード※
　登録する商品のバーコードに付いている数字を入力します。

④部門リンク
　枠内をダブルクリックすると、登録済みの部門一覧が表示されます。所属する部門をダブルクリックで選択すると、部門番号が入力されます。

⑤部門一覧表示順番
　売上登録時の部門一覧選択画面での表示順を指定する場合は番号を入力します。

⑥単価
　登録中の PLU 商品の単価を入力します。

⑦入力桁制限
　売り上げ登録時に入力できる桁数を制限したい場合は桁数を入力します。

⑧置数オーバーライト不可
　OFF　売り上げ登録時に売価を変更可能にします
　ON　売り上げ登録時に売価を変更不可にします

⑨ F1: 登録

※続けて登録する際は、▶* をクリックし、新規作成画面で①～⑨を繰り返します。

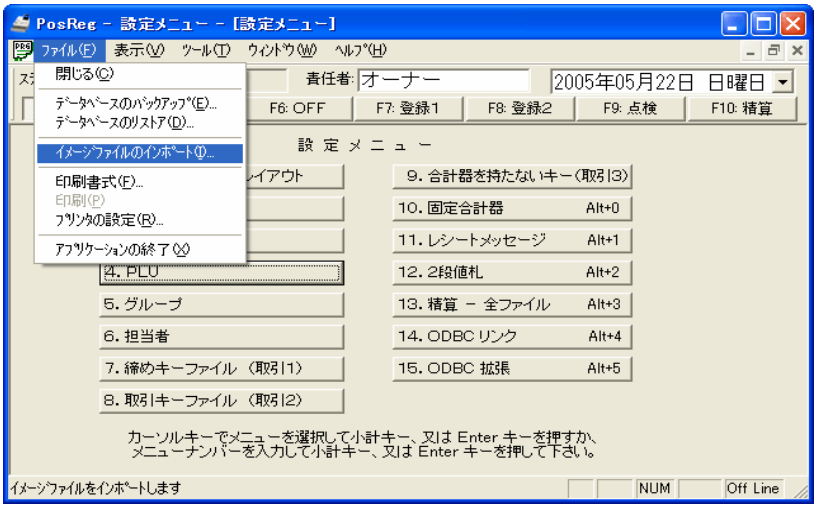
⑩ F10: 終了

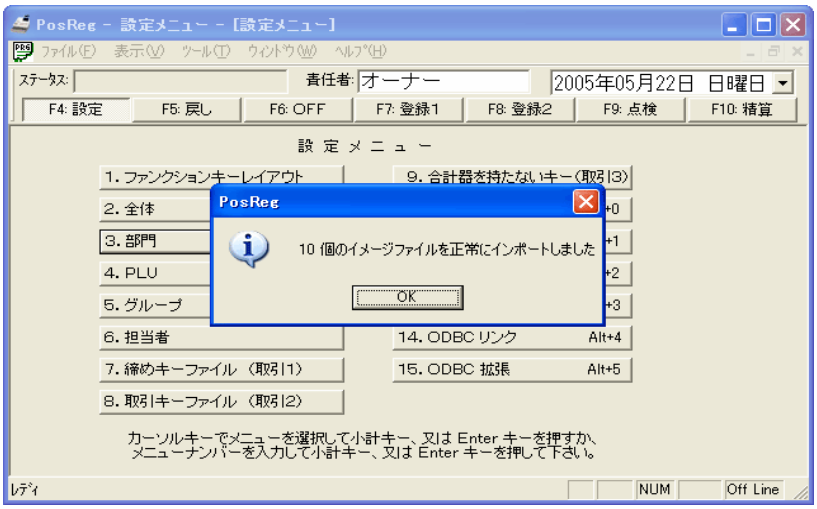
※ ③PLU コードについて
　バージョン 1.76.1.0 より、PLU コード入力時に、チェックデジット自動付加に対応いたしました。
　PLU コードを入力する場合、最後の桁がチェックデジットになっています。
　コードの打ち間違えをチェックするために必要不可欠ですが、インストアコードを新規作成するときに、13 桁目で“ C ”キーを押すと自動付加します。

４－４．商品画像登録

PosReg では、売り上げ登録時に商品の写真から視覚的に商品を選ぶことができます。
各商品の写真は、デジタルカメラ等で撮影し、あらかじめ準備しておいてください。
写真のファイル名は、その商品の部門番号、または PLU コードの数字にする必要があります。
〔例〕「イチゴ」部門（部門番号＝１）の写真のファイル名 → 1.jpg
「イチゴ M サイズ」（PLU コード例＝4900000000001）の写真のファイル名 → 4900000000001.jpg
撮影した画像は、ひとつのフォルダにまとめておいてください。
※説明では、付属の八百屋サンプル用の画像を使用しています。
〔例〕八百屋サンプル用の画像を登録する。

①[ファイル]メニュー → [イメージファイルのインポート]
②画像が保存してあるフォルダを指定する → OK
※以下は八百屋サンプルの場合
C → Program Files → PATOK →PosReg→Samples→Image





インポートが完了すると、売り上げ登録の画面で、ウィンドウ右の部門選択画面が写真に変わります。

※ バージョン 1.76.1.0 より、画像（イメージ）のサイズ変更に対応いたしました。
“ ツール（T）” メニューから “ イメージサイズ変更 ” を選択し、イメージサイズを設定して下さい。
ただし、文字がはみ出すため、既定値（133 × 100 pixel）よりも小さくすることはできません。

第５章　売上登録（通常登録）

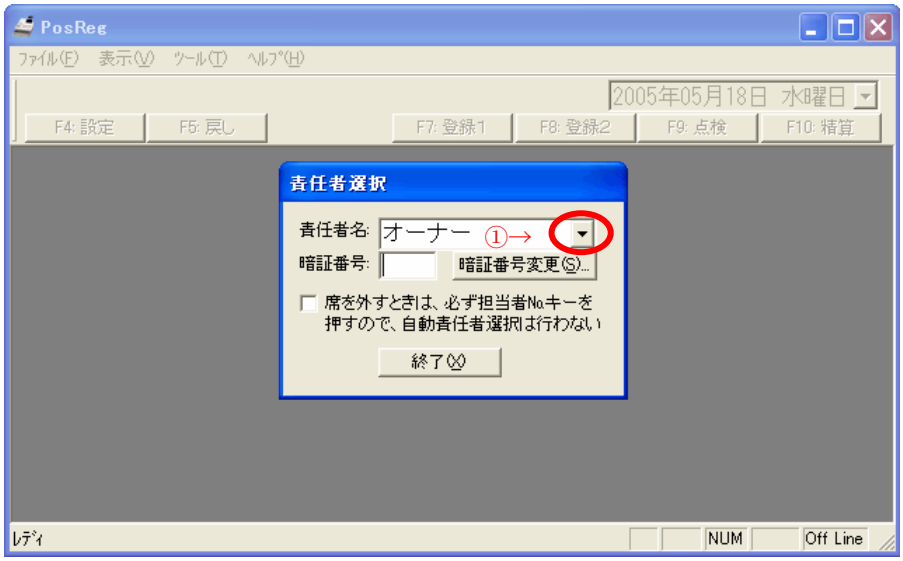
５－１．レジ担当者の登録

Pos Reg を起動すると、レジ責任者選択の画面が現れます。

①リストボタンをクリックし、担当者を選択します。

②Enter キーを押して登録画面にします。

※暗証番号が設定してある場合は暗証番号を入力します。



５－２．レジ責任者の変更

①Shift ＋ ? キーを押すと、レジ責任者選択の画面が現れます。

②リストボタンをクリックし、担当者を選択します。

③Enter キーで登録画面に戻ります。

５－３．金額入力による売上登録

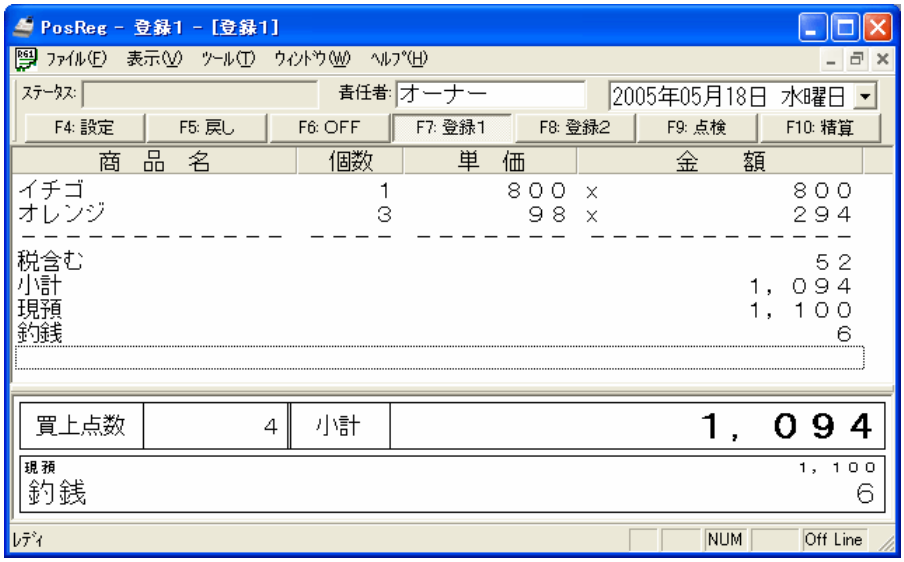
〔例〕800 円のイチゴと 98 円のオレンジ３個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

①　　８００　A

②３　＊　９８　B

③１１００　F1

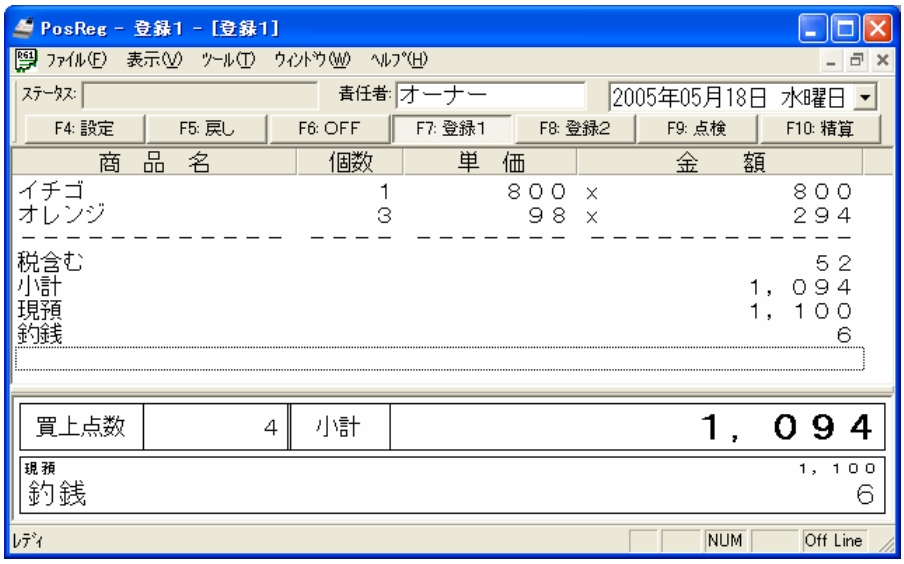
（００は. キーでも入力可）



５－４．部門に単価が登録してある場合の売上登録

〔例〕イチゴ（部門に 800 円で登録済み）とオレンジ（部門に 98 円で登録済み）３個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

①　　A
②３　＊　B
③１１００　F1
　（００は. キーでも入力可）



５－５．画像を使って売上登録（部門）

〔例〕イチゴ（部門に 800 円で登録済み）とオレンジ（部門に 98 円で登録済み）３個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

①　　＋　イチゴ画像選択
②３　＊　＋　オレンジ画像選択
③部門一覧選択ウィンドウを閉じる
　※ダブルクリックでも閉じます
④１１００　F1
　（００は. キーでも入力可）

↓①，②　*画像選択ウィンドウ*

※部門一覧選択のウィンドウは＋キー以外に、[登録１]ウィンドウ内で右クリックをしても表示することができます。

※複数の商品を登録する場合は、個数　＊　と入力すると、[登録 1]ウィンドウ内に個数が登録されます。その後、該当の商品画像を選択してください。

※[登録１]ウィンドウの右端にも表示されています。

５－６．画像を使って売上登録（PLU）

PLU 登録を利用したい場合は、その部門の単価は入力しないで下さい。部門の単価が入力されていると、部門が優先されてしまいます。（４－２．部門登録　参照）

単価の設定は PLU 商品登録で行ってください。（４－３．PLU 商品登録　参照）

〔例〕メークイン（ジャガイモ）３個を売り上げ、客から 1,100 円預った。

①３　＊　[+]　ジャガイモ画像選択

※部門選択後、PLU が登録されていれば、PLU 選択画面ウィンドウが出ます

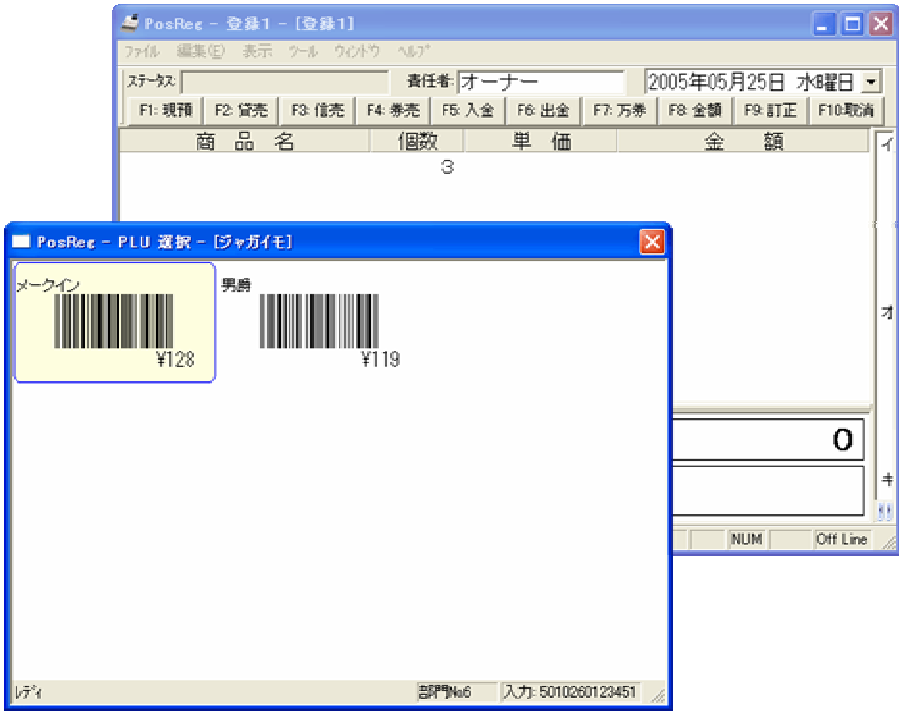
②メークイン選択

③PLU 選択ウィンドウを閉じる

※ダブルクリックでも閉じます

④１１００　[F1]

（００は[.]キーでも入力可）



※部門一覧選択のウィンドウは[+]キー以外に、[登録１]ウィンドウ内で右クリックをしても表示することができます。

※複数の商品を登録する場合は、[個数] [＊] と入力すると、[登録 1]ウィンドウ内に個数が登録されます。その後、該当の商品画像を選択してください。

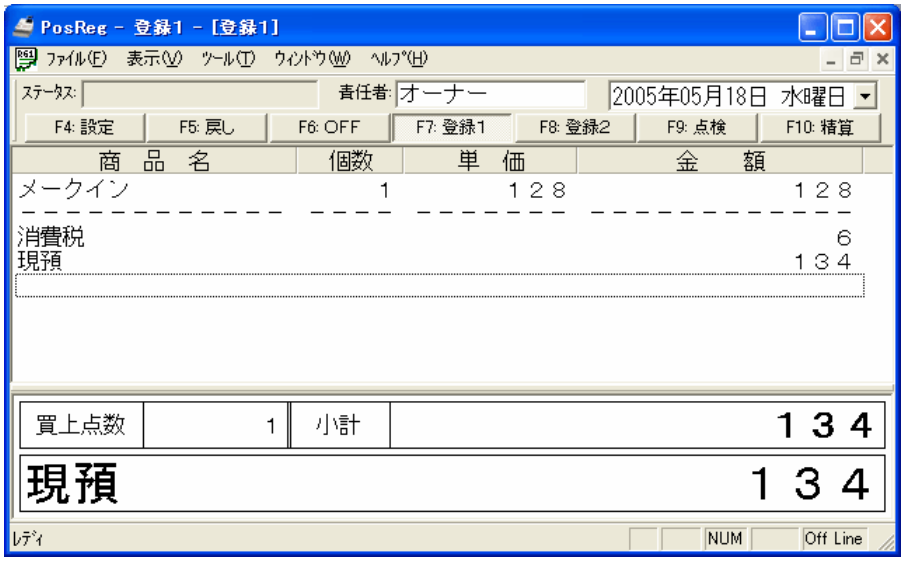
※[登録１]ウィンドウの右端にも表示されています。

５－７．スキャナでバーコードを読み取る場合の売上登録

〔例〕メークイン（ジャガイモ）をスキャナで読み取り売り上げ、客から 134 円ちょうど預った。

①バーコード読み取り

②[F1]



※バーコードはその数字をキーボードから入力し、[Enter]キーを押すことで直接入力することもできます。

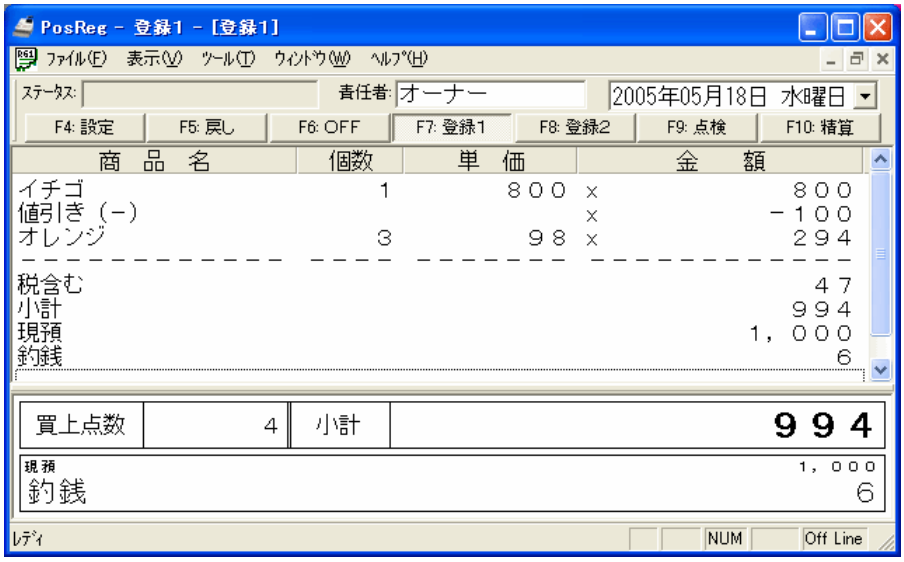
５－８．値引き・値増しの方法

〔例１〕単品からの場合（値引き）

イチゴ１パックとオレンジ３個を売り上げ、イチゴを 100 円値引きして、客から 1,000 円預った。

①　　A
②１００　－
③３　＊　B
④１０００　F1
　（００は. キーでも入力可）

※②の－キーは値引きの場合。
　・値増しの場合…Alt ＋ －

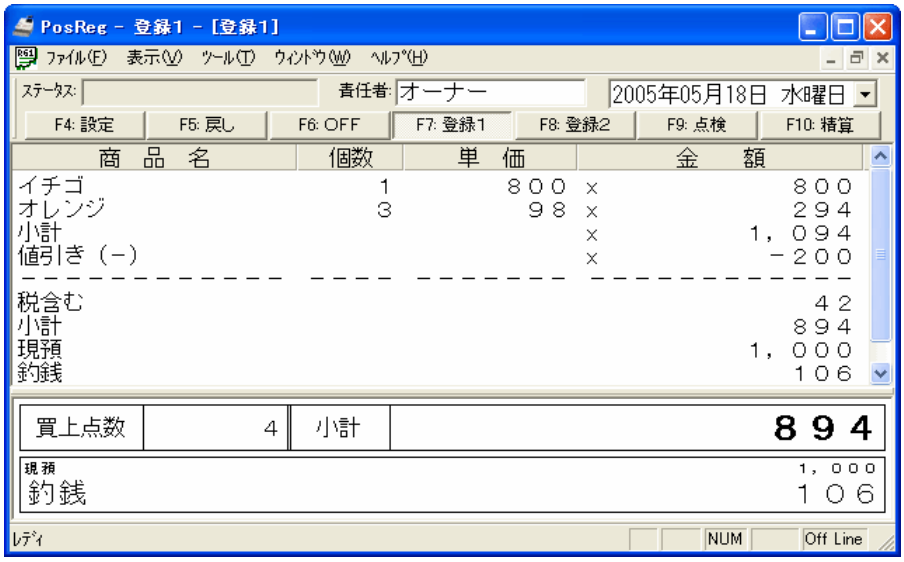


〔例２〕合計からの場合（値引き）

イチゴ１パックとオレンジ３個を売り上げ、合計から 200 円値引きして、客から 1,000 円預った。

①　　A
②３　＊　B
③Space　（小計）
④２００　－
⑤１０００　F1
　（００は. キーでも入力可）

※④の－キーは値引きの場合。
　・値増しの場合…Alt ＋ －



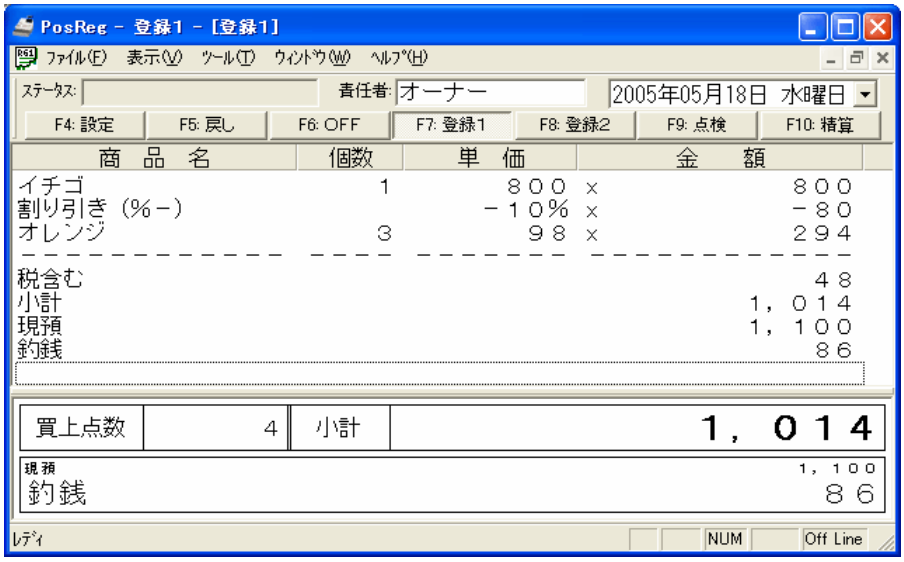
５－９．割引き・割増しの方法

〔例１〕単品からの場合（割引き）

イチゴ１パックとオレンジ３個を売り上げ、イチゴを 10%割引きして、客から 1,100 円預った。

①　　A
②１０　／
③３　＊　B
④１１００　F1
　（００は. キーでも入力可）

※②の／キーは割引きの場合。
　・割増しの場合…Alt + ／



〔例２〕合計からの場合（割引き）

イチゴ１パックとオレンジ３個を売り上げ、合計から 20%割引きして、客から 1,000 円預った。

①　　A
②３　＊　B
③Space　（小計）
④２０　／
⑤１０００　F1
　（００は. キーでも入力可）

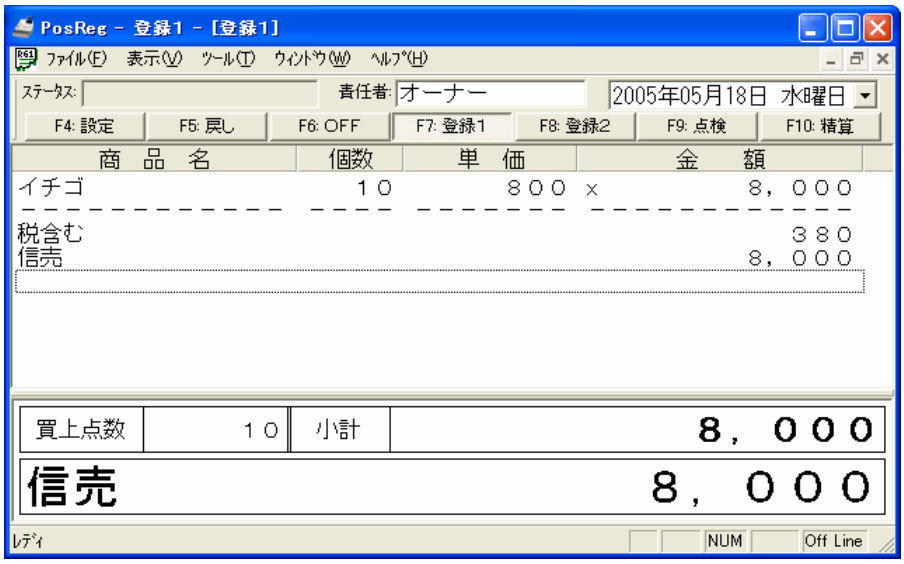
※④の／キーは割引きの場合。
　・割増しの場合…Alt + ／

５－１０．信用売りとして売上登録

〔例１〕イチゴ１０パックを信用売りとして売り上げた。

①１０　＊　A

②F3

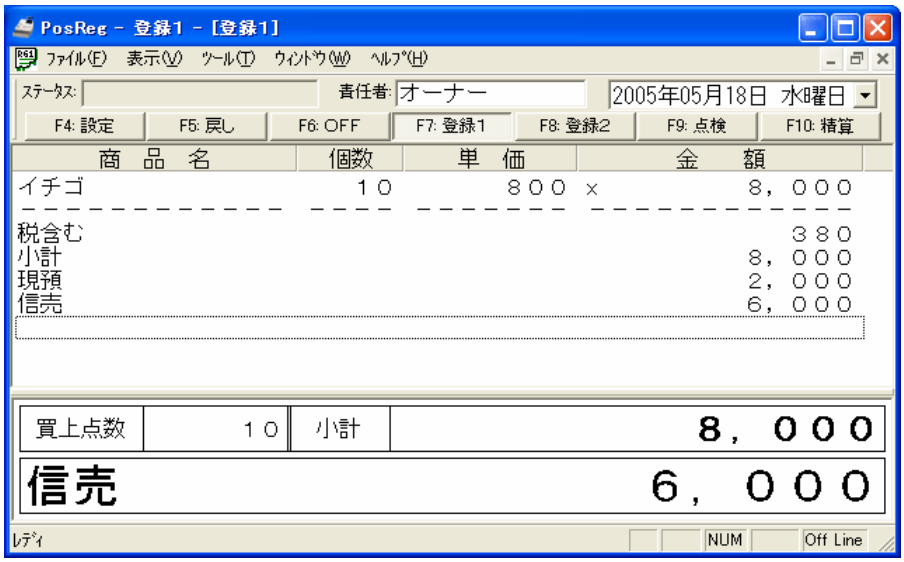


〔例２〕イチゴ１０パックを売り上げ、2,000 円は現金で、残り 6,000 円を信用売りで分割登録した。

①１０　＊　A

②２０００　F1

③F3

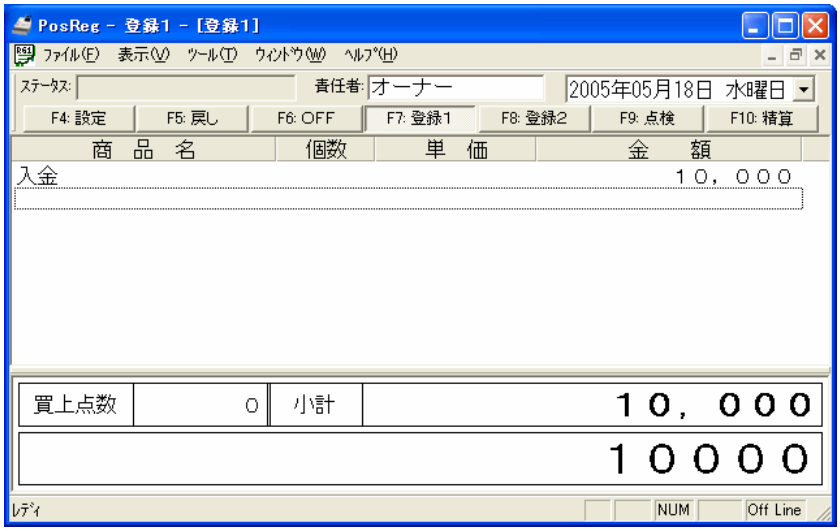


５－１１．入金・出金・両替の方法

〔例１〕10,000 円の入金があった場合

①１００００　F5

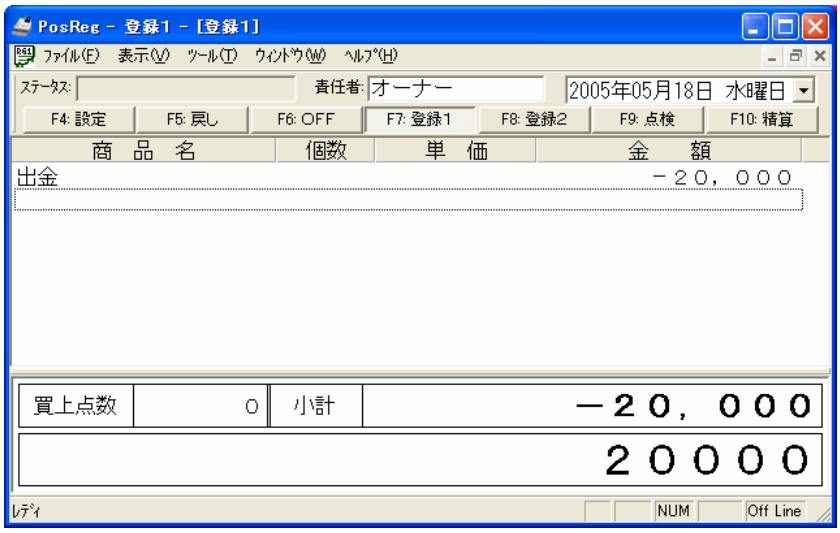
※F7 キー（万券キー）でも 10,000 円を入力できます。



〔例２〕20,000 円の出金があった場合

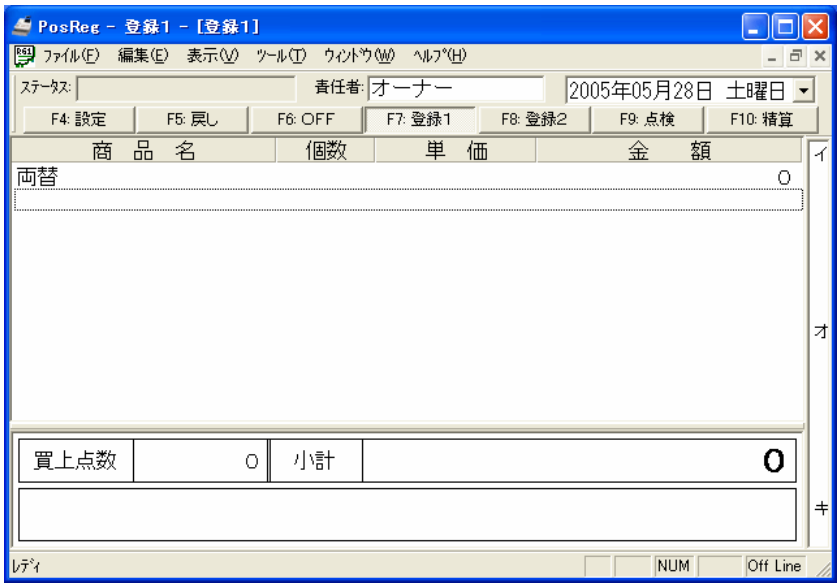
①２００００　F6

※F7 キー（万券キー）でも 10,000 円を入力できます。



〔例３〕両替があった場合

①¥



５－１２．レシートオン・オフの切り替え方法

初期設定では、レシートオン（発行）になっています。発行／停止の切り替えは取引開始前に行ってください。

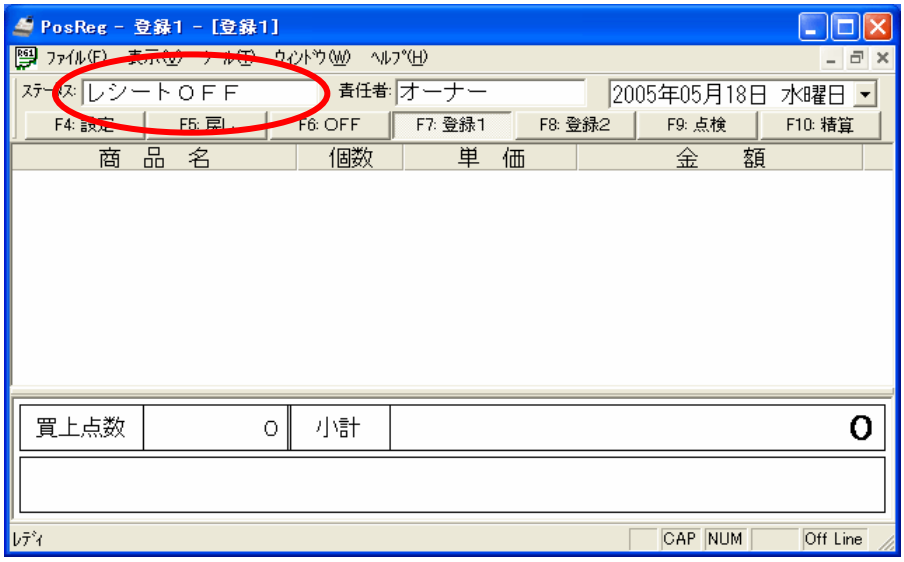
〔例〕レシートオン／オフの切り替え

①[^]　レシート停止
（レシート OFF が表示されます）

②[^]　レシート発行

③[^]　レシート停止
（レシート OFF が表示されます）

※画面上を右クリックして、メニューからオン／オフを切り替えることもできます。

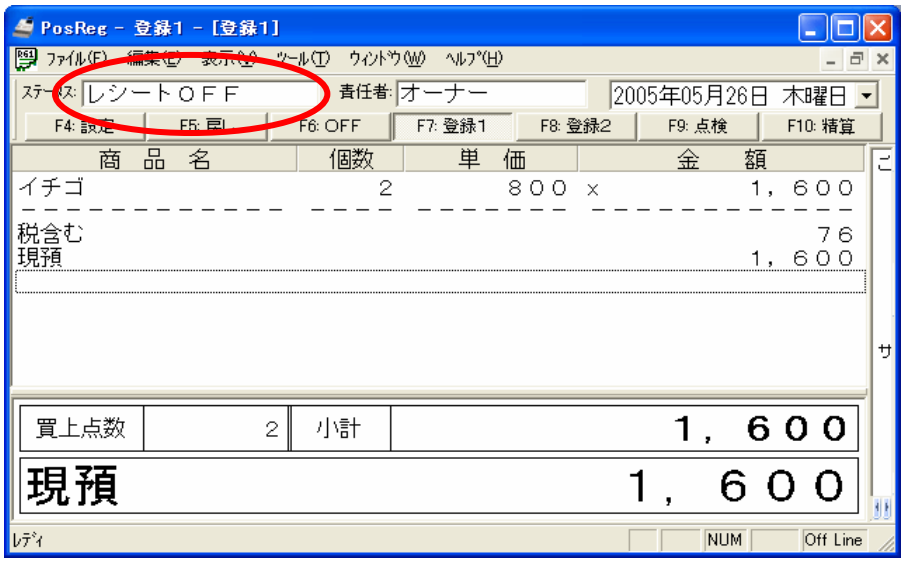


５－１３．レシート発行の方法

レシートの発行を停止している状態でも、売上登録時に[Shift] ＋ [__] キーを押すと、以下のレシート発行を１回だけ行います。

〔例〕

①２　＊　[A]
②[F1]　　} イチゴ購入
③[Shift] ＋ [__]



お　買　上　票
毎度ありがとうございます

2005年 5月26日(木)
イチゴ　2X　@800　¥1,600

税含む　¥76
現預　¥1，600

担当者01　2 点　REG1　15:26　00008

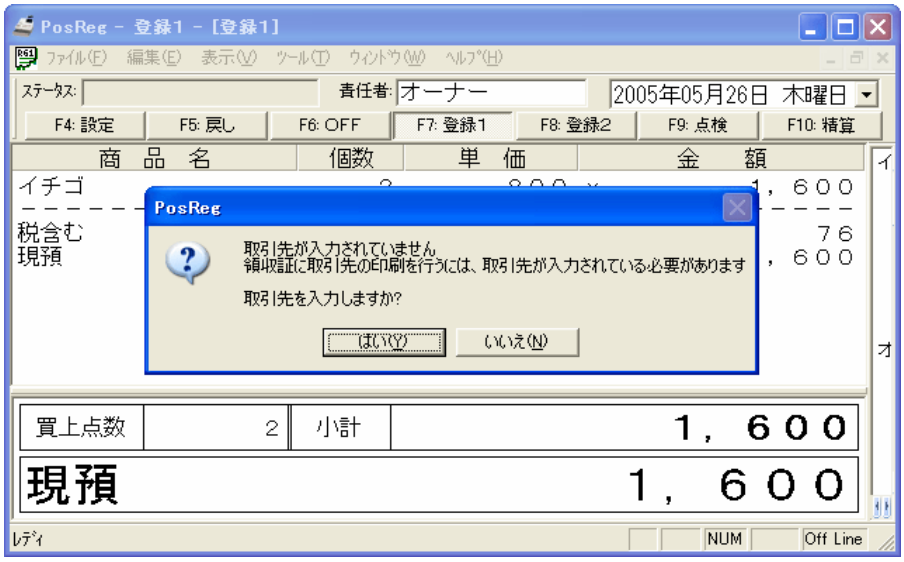
５－１４．領収証発行の方法

レシート発行後、Shift ＋ ～キーを押すと、その登録の領収証を発行することができます。

〔例〕

①２　＊　A
②F1
③Shift ＋ ～
} イチゴ購入

④取引先入力の設定がされていないと、右のようなメッセージが表示されます。
領収証に宛名（取引先）が必要な場合はは い(Y)を選択します。



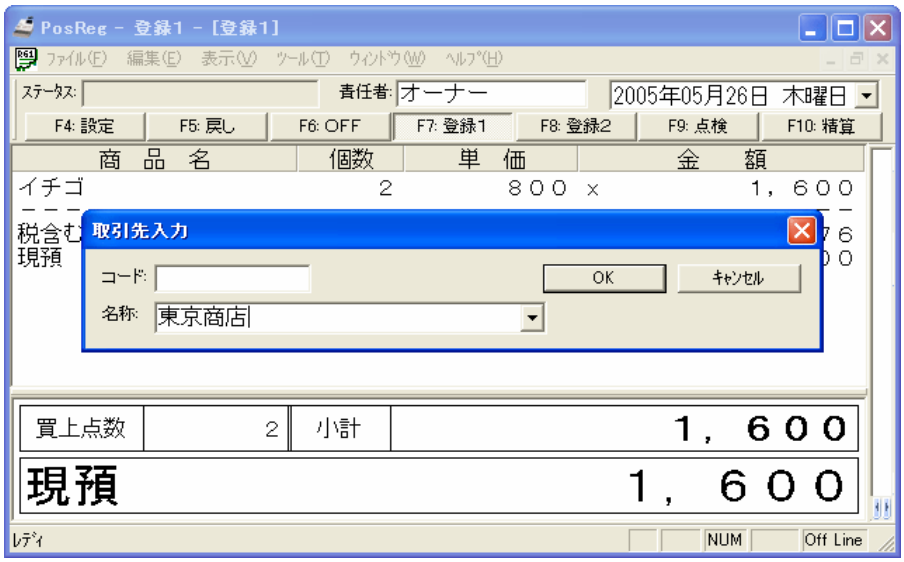
※取引先入力については**２－２．設定画面の説明**の１４．[ODBC リンク設定]コマンド（マニュアル 19 ページまたはヘルプ）をご覧下さい。

※領収証の形式は３種類あります

Ⅰ．宛名（取引先）を印字する

①〔例〕の確認画面では い(Y)を選択

②右の[取引先入力]画面の[名称]欄に宛名（取引先）を入力する→OK

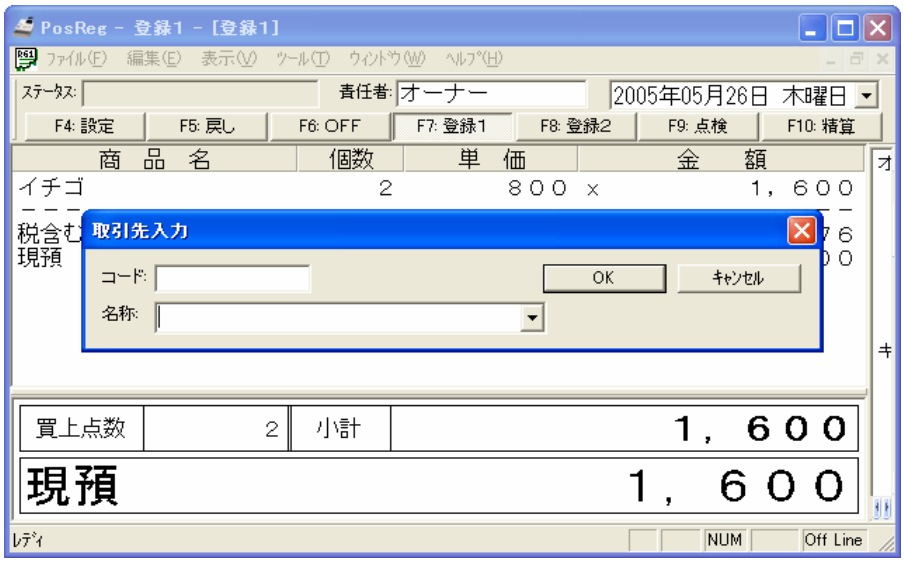


※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。

Ⅱ．宛名（取引先）を手書きするため、空欄の宛名欄を印刷する

①〔例〕の確認画面で[はい(Y)]を選択

②右の[取引先入力]画面には何も入力しない→[OK]



Ⅲ．宛名（取引先）欄を印刷しない

①〔例〕の確認画面で[いいえ(N)]を選択

第６章　訂正

６－１．エラーメッセージの解除

数字の入力欄に表示されるすべてのエラーメッセージは、Escキーを押すことで解除できます。

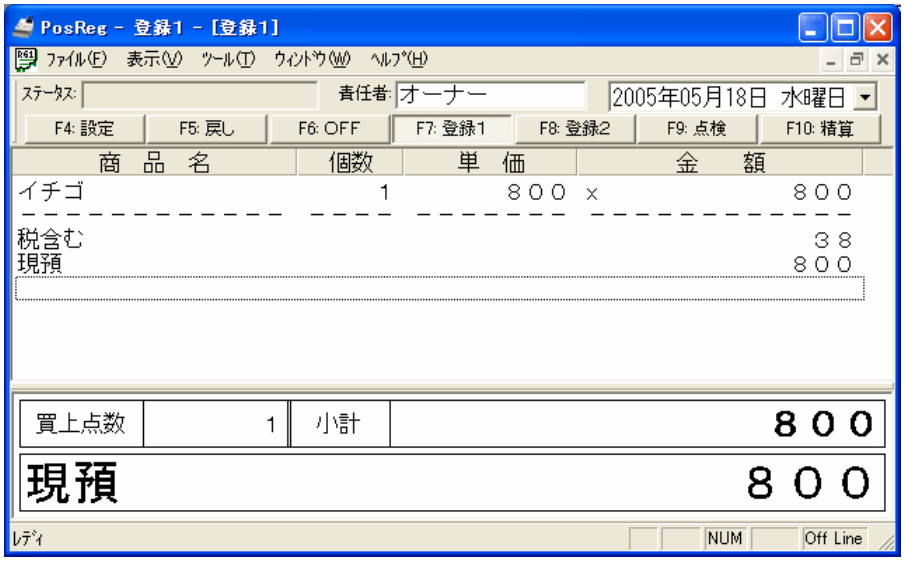
６－２．入力中の訂正

金額や個数をまちがえて入力した時は、Deleteキーを押して訂正します。

〔例〕800円のイチゴを、間違って700円と入力した場合

①７００（間違った金額）
②Deleteキー
③８００（正しい金額）
④A
⑤F1

※1文字訂正の場合はBackSpaceキーで訂正できます。



６－３．入力確定後の訂正

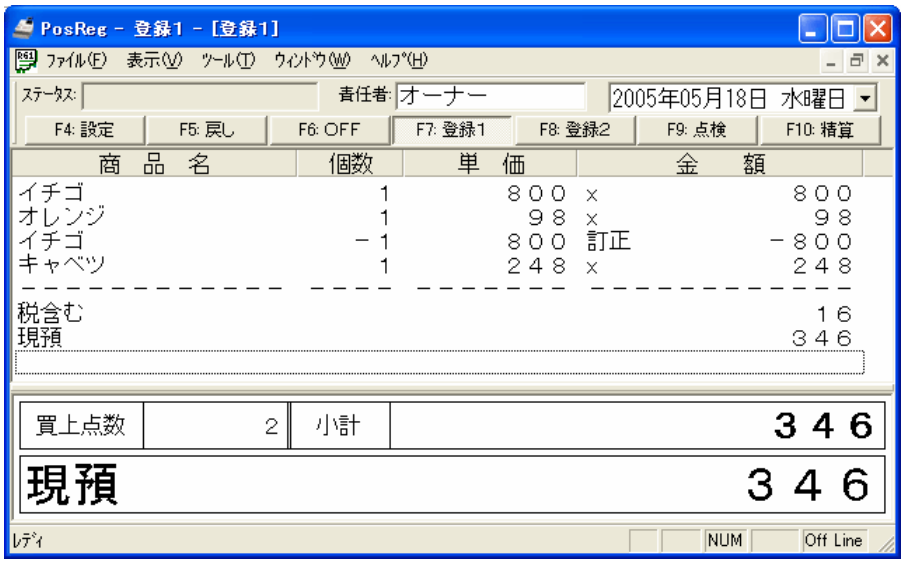
部門キー、値引きキー、割引キーなどのキーを押した後にまちがいに気づいた時は、訂正キー（F9）で訂正を行います。

〔例１〕イチゴの割引きを10%から20%に訂正する場合

①A
②１０　／　（間違った割引）
③F9
④２０　／　（正しい割引）
⑤F1

〔例２〕イチゴ、オレンジの順で登録した後、キャベツを誤ってイチゴと登録していたことに気づいた場合

①A（間違った部門）
②B
③↑　↑（イチゴの行を選択）
③F9
④C（正しい部門）
⑤F1

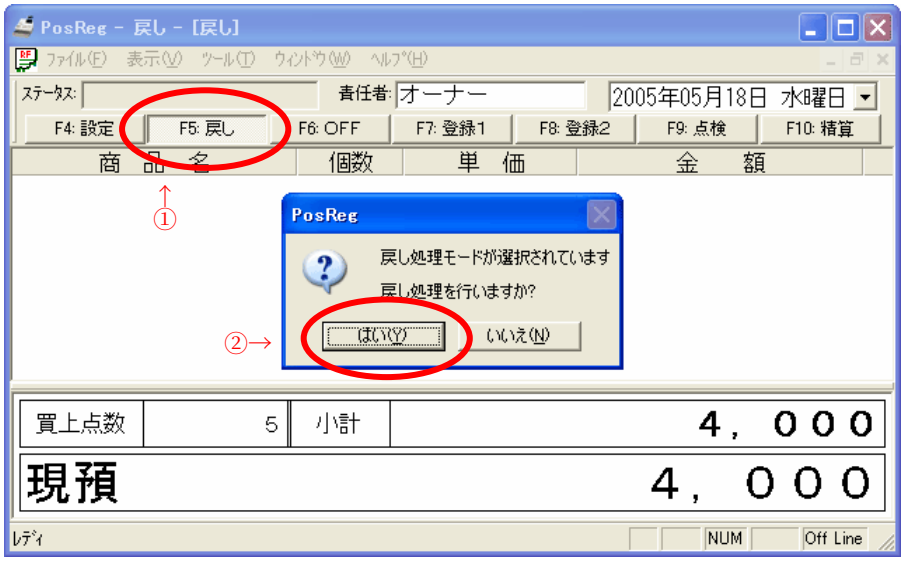


６－４．取引終了後の訂正（戻し処理の方法）

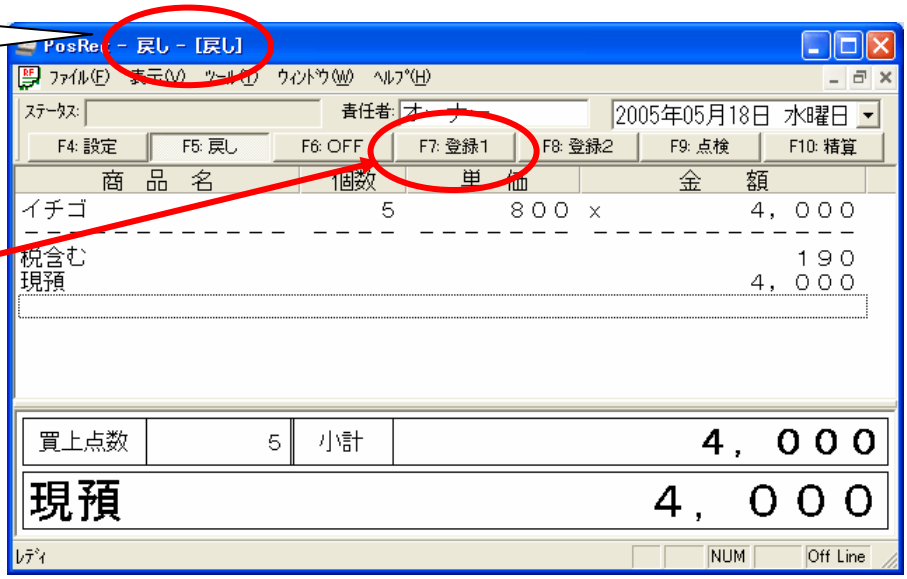
戻し処理は、取引終了後に品物の返品が発生した場合の戻し登録・訂正を行うものです。

〔例〕イチゴを、５パック返品する場合

①F5（戻し画面）
※入力開始のときに右図のような確認メッセージが出ますので、はい(Y)を選択してください。



[戻し]になっていることを確認



②５　＊　A
③F1

※戻し処理終了後は F7: 登録1 （F7）を押して、必ず登録モードに戻してください。

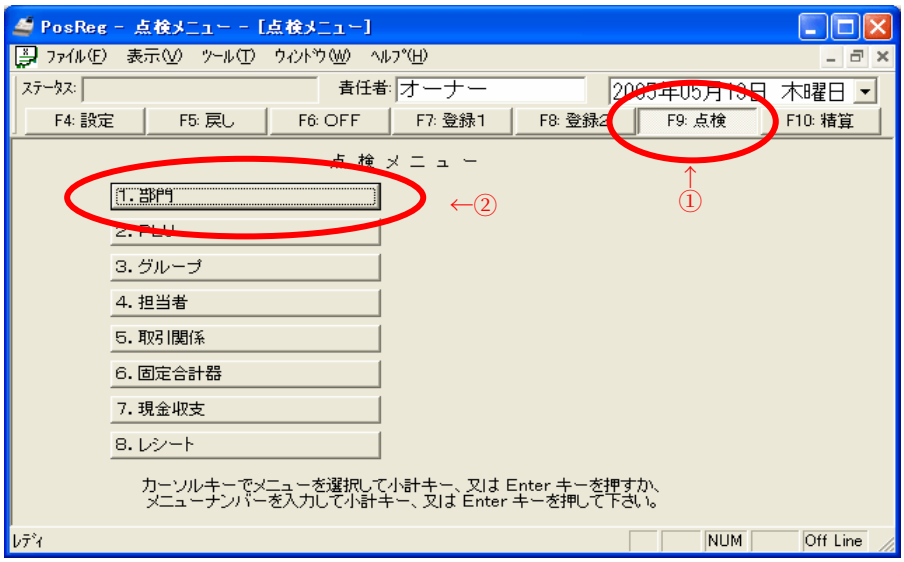
第７章　点検

点検は、営業時間中にそれまでの売上合計、現金在高などを確認したいときに行います。
この点検は必要に応じて何回でも行うことができます。
点検を行う場合は、モードを[点検]（F9）に変更します。

〔例〕部門点検の方法

①　F9: 点検　（F9）

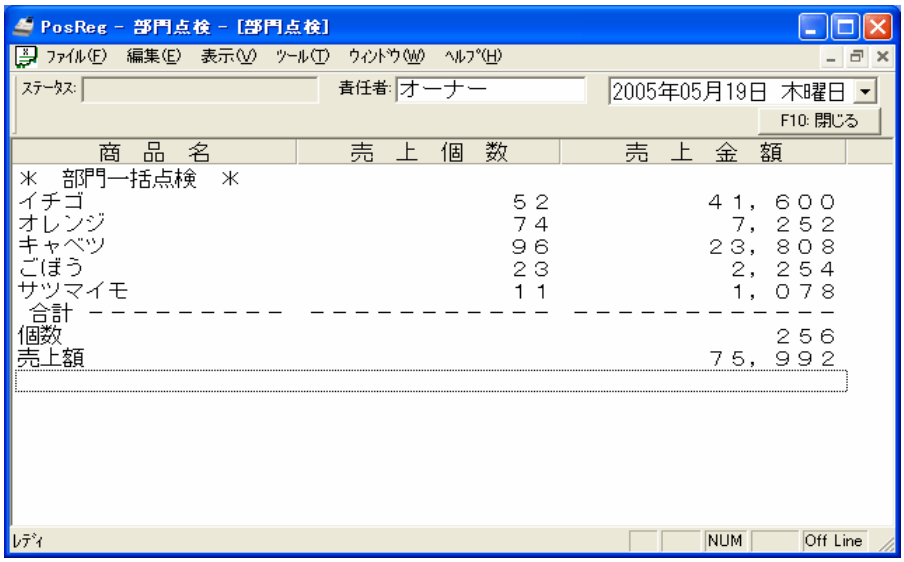
②１．部門



③点検結果がレシートへ印刷されると同時に、画面にも表示されます。

④結果の確認ができたら

F10: 閉じる　をクリックし、[点検メニュー]に戻ります。



※PLU やグループなどの点検を行う場合は、[点検メニュー]画面でそれぞれのメニューを選択してください。

※部門や PLU などの点検を行う場合は、レシートの印字が長くなる場合があります。
レシート用紙が十分にあることを確認してから実行してください。

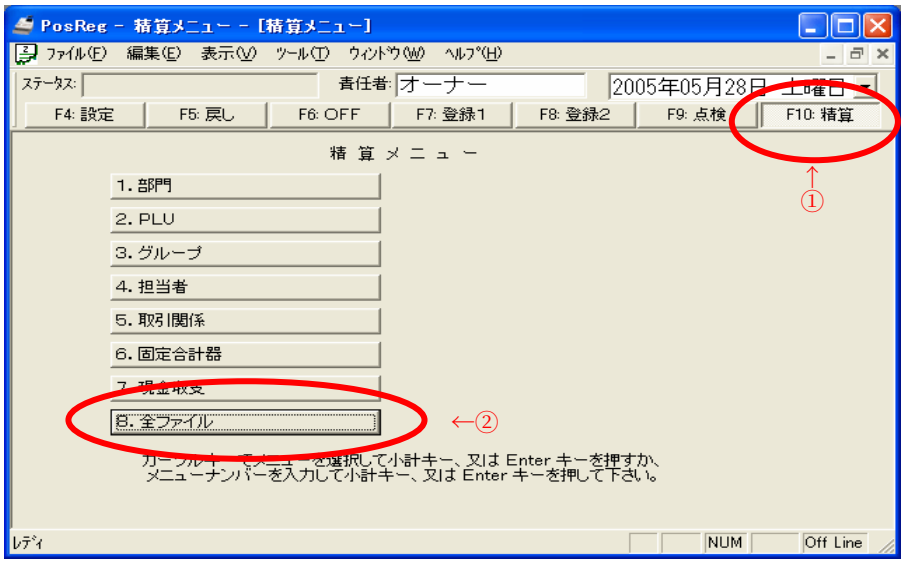
※レシート印字が必要でない場合は、[点検メニュー]画面で１．部門などのメニューを選択する前にレシートオン／オフ（^）キーを押し、レシートオフにしておきます。
画面に「レシート OFF」と表示され、以後、点検だけでなく登録を行った場合もレシート印字は行いません。レシート印字を再開する場合は、再びレシートオン／オフ（^）キーを押し、「レシート OFF」を解除します。

第８章　精算

精算は、１日の営業が終了した場合などに行われる処理です。
一度精算を行うと、精算を行った部分（部門、グループなど）は０クリアーされます。
精算を行う場合は、モードを[精算]（F10）に変更します。

８－１．全体精算の方法

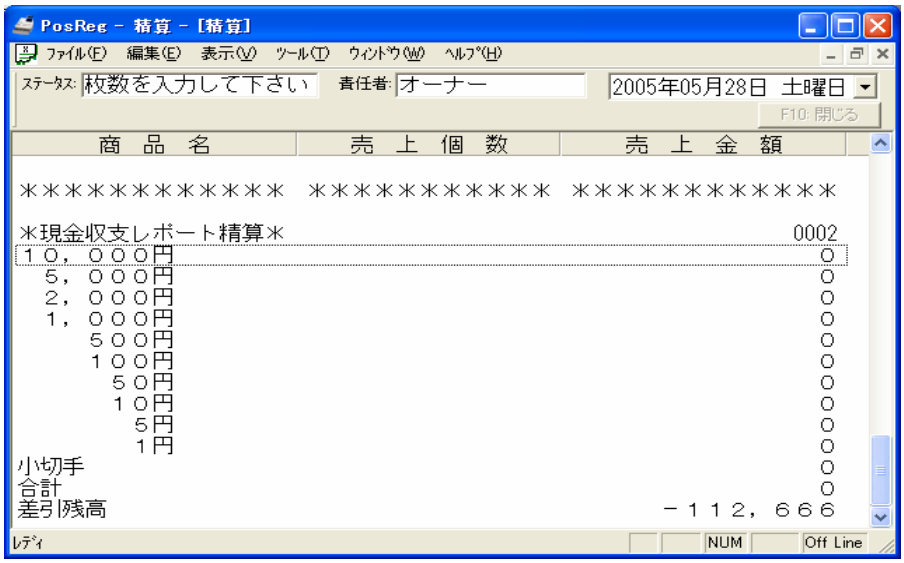
①　F10: 精算　（F10）
②８．全ファイル
③精算処理を行うかどうかの確認画面が出ますので、はい(Y)を選択します。



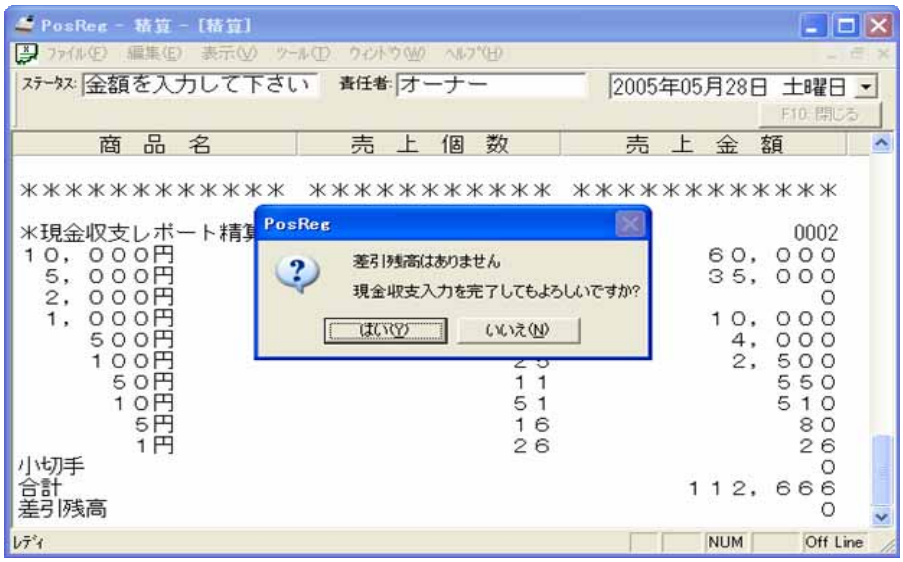
④レジ内の現金を金種ごとに数え、その枚数を入力します。０枚の金種は入力しません。
⑤↓キーで下行へ移動しながらすべての枚数を入力します。

※間違えた場合は↑キーで戻って訂正します。

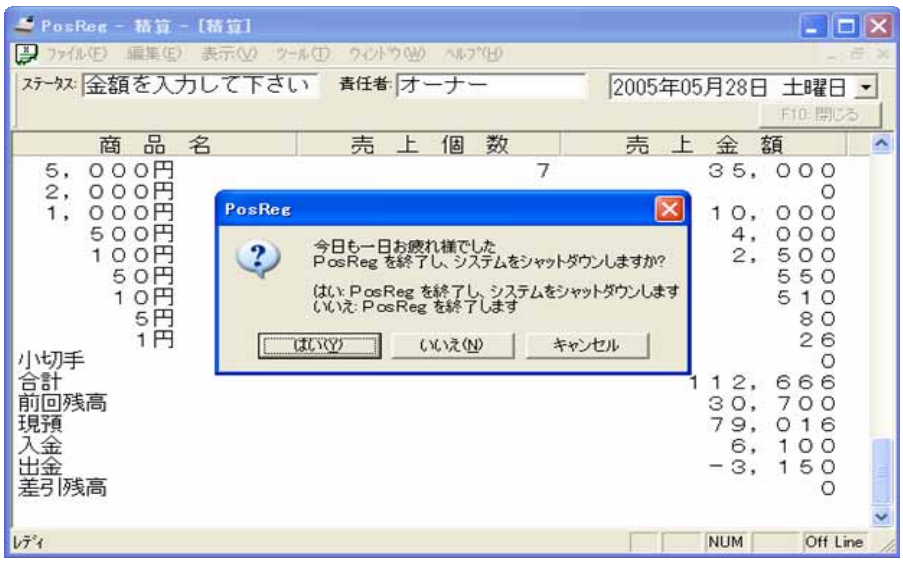
※小切手の場合は金額を入力してください。



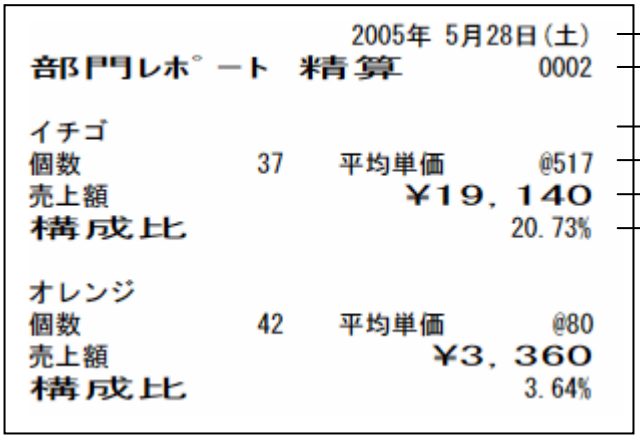
⑥合計の行まで移動すると、右図のような確認画面が出ます。
完了する場合は[はい(Y)]を選びます。
⑦精算レポートが印刷されます。



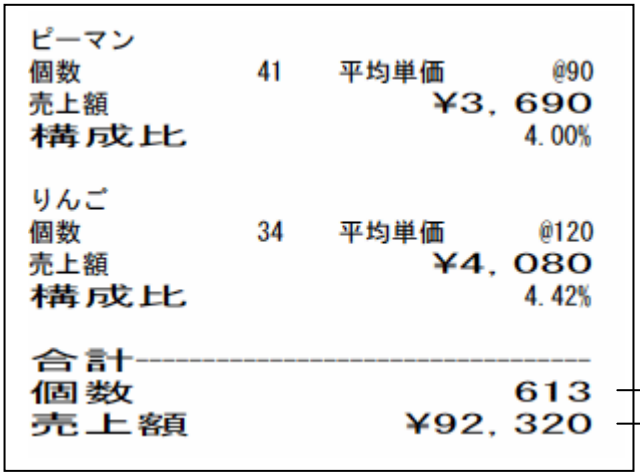
⑧パソコンを終了する場合
[はい(Y)]
PosReg のみ終了する場合
[いいえ(N)]
PosReg を終了しない場合
[キャンセル]



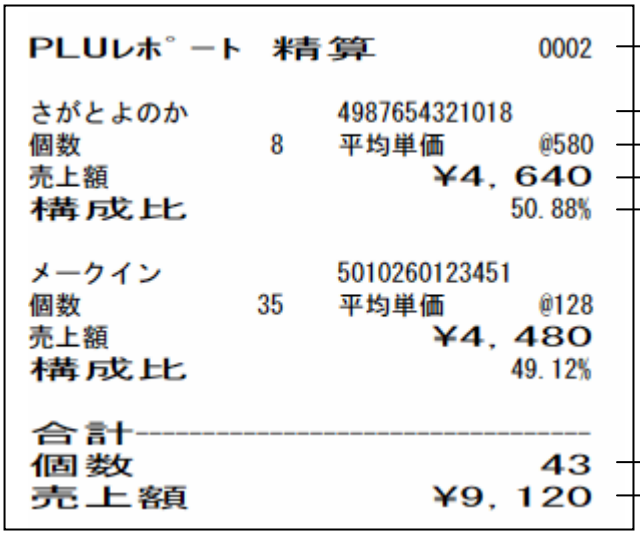
８－２．精算レポートの見方



レポート発行年月日
レポート名称　精算回数
部門名称
個数　平均単価
売上金額
売上金額構成比（各部門／部門合計）

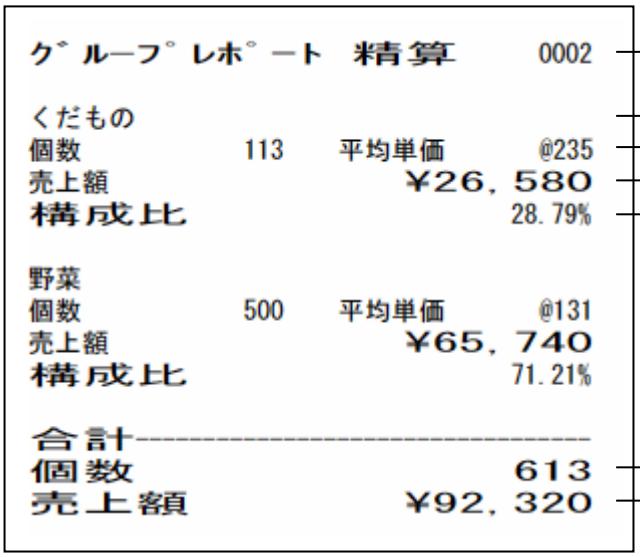


部門売上合計個数
部門売上合計金額



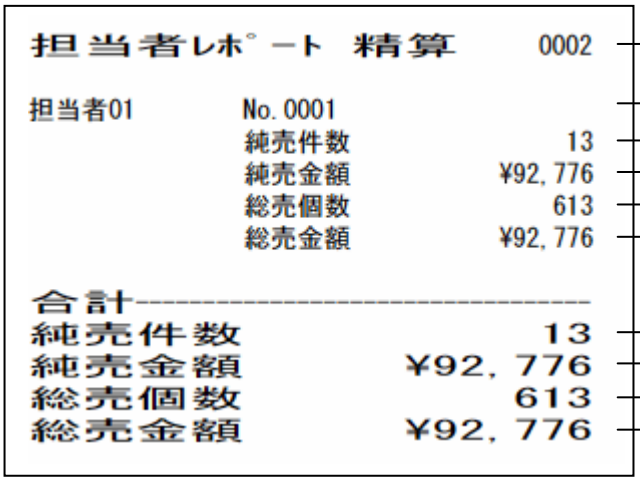
レポート名称　精算回数
PLU 名称　PLU コード
個数　平均単価
売上金額
売上金額構成比（各 PLU／PLU 合計）
PLU 売上合計個数
PLU 売上合計金額

※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。



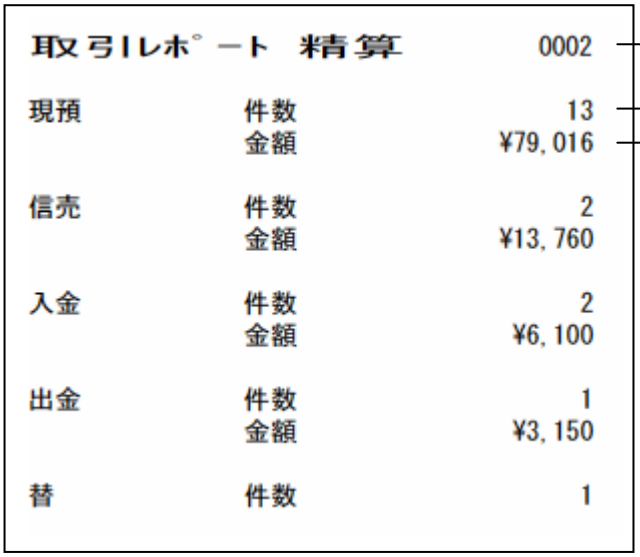
```
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾚﾎﾟｰﾄ 精算          0002

くだもの
個数        113   平均単価    @235
売上額              ¥26,580
構成比                28.79%

野菜
個数        500   平均単価    @131
売上額              ¥65,740
構成比                71.21%

合計----------------------------
個数                    613
売上額              ¥92,320
```

レポート名称　　精算回数
グループ名称
個数　　平均単価
売上金額
売上金額構成比（各グループ／グループ合計）
グループ売上合計個数
グループ売上合計金額



```
担当者ﾚﾎﾟｰﾄ 精算          0002

担当者01      No.0001
              純売件数          13
              純売金額      ¥92,776
              総売個数         613
              総売金額      ¥92,776

合計----------------------------
純売件数                    13
純売金額              ¥92,776
総売個数                   613
総売金額              ¥92,776
```

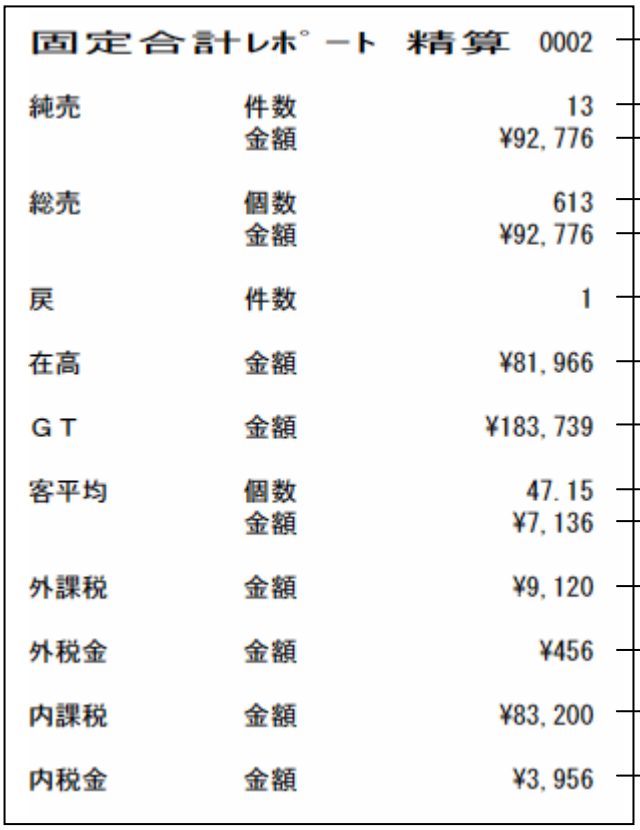
レポート名称　　精算回数
担当者名　　担当者№
純売上件数（NET 件数）
純売上金額（NET 金額）
純売上個数（Gross 個数）
純売上金額（Gross 金額）
㊟ 純売上＝総売上±取引（%±、±）
担当者純売上合計件数
担当者純売上合計金額
担当者総売上合計個数
担当者総売上合計金額



```
取引ﾚﾎﾟｰﾄ 精算          0002

現預          件数            13
              金額        ¥79,016

信売          件数             2
              金額        ¥13,760

入金          件数             2
              金額         ¥6,100

出金          件数             1
              金額         ¥3,150

替            件数             1
```

レポート名称　　精算回数
取引キー名称　　件数
取引キー金額

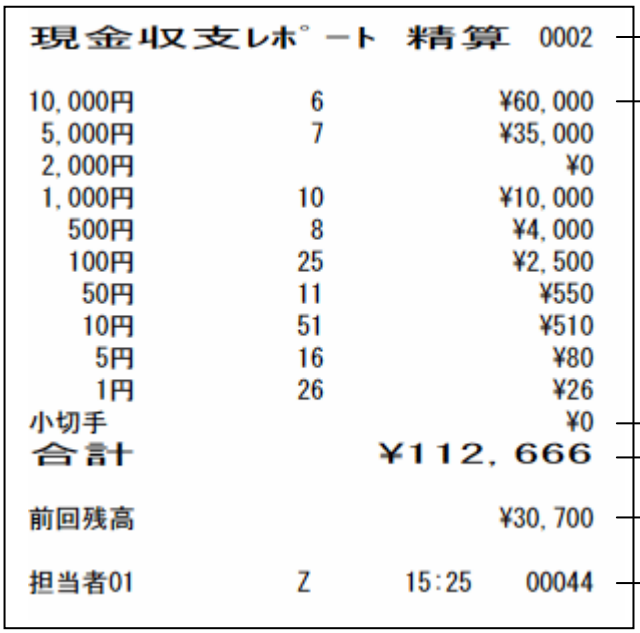
※〔例〕は八百屋サンプルデータで説明しています。



固定合計ﾚﾎﾟｰﾄ 精算 0002

純売	件数	13
	金額	¥92,776
総売	個数	613
	金額	¥92,776
戻	件数	1
在高	金額	¥81,966
ＧＴ	金額	¥183,739
客平均	個数	47.15
	金額	¥7,136
外課税	金額	¥9,120
外税金	金額	¥456
内課税	金額	¥83,200
内税金	金額	¥3,956

レポート名称　精算回数
純売上件数
純売上金額
総売上個数
総売上金額
戻件数
現金在高
グランドトータル
平均客売上個数
平均客単価
外課税対象額
外税金額
内課税対象額
内税金額



現金収支ﾚﾎﾟｰﾄ 精算 0002

10,000円	6	¥60,000
5,000円	7	¥35,000
2,000円		¥0
1,000円	10	¥10,000
500円	8	¥4,000
100円	25	¥2,500
50円	11	¥550
10円	51	¥510
5円	16	¥80
1円	26	¥26
小切手		¥0
合計		¥112,666
前回残高		¥30,700
担当者01	Z	15:25 00044

レポート名称　精算回数
金種　枚数　金種別額
小切手総額
合計在高
釣銭用現金総額
担当者名　精算シンボル(Z)　時間　発券№